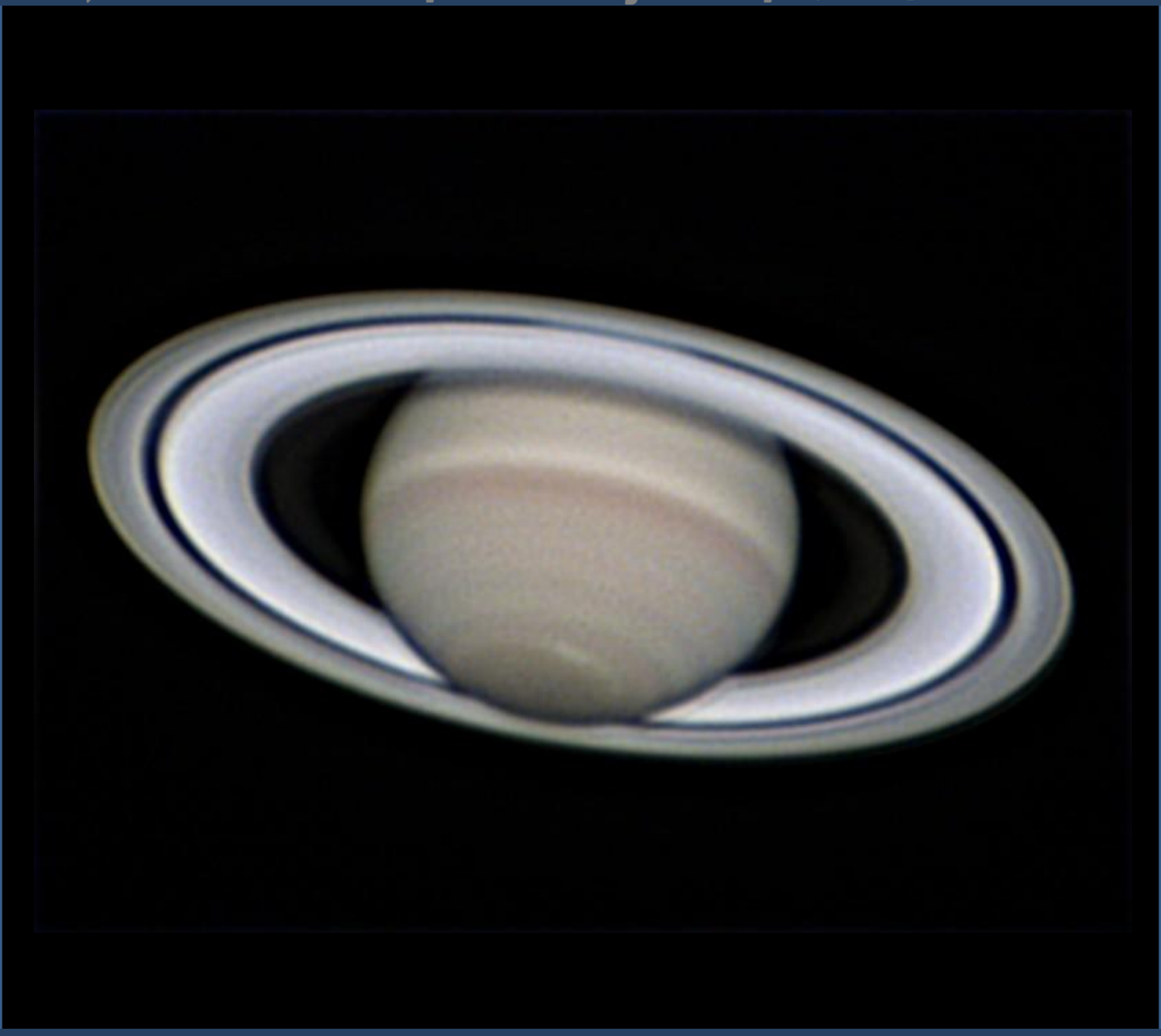
2018･07（Ｎｏ099・A4）

NEW

アストロ・インフォメイション



☆☆　土星　☆☆

撮　影：川 端 孝 幸　（熊本県熊本市）
撮影日時　2018年06月25日　23h47m16s(JST)
C14 + 2×バーロー + IRcut + ADC + ASI224MC

大分天文協会

Astronomical Society of Oita

アストロインフォメイション　Vol.099　(Jul　2018)

表紙コメント
2018.06/25の木星　　川端　孝幸
27日衝を迎えるが、白斑も広がっているようですね。

～～目次～～

例会 01　例会報告
会誌 03　会誌発送
03　アストロインフォメイション感想(福岡星の会さんより)
03　アストロインフォメイション感想(会員より)
03　アストロインフォメイションバックナンバーのご案内
協会ニュース 04　内那さん260～263個目の彗星発見
05　内那さん264～268個目の彗星発見
06　内那さん269～272個目の彗星発見
07　津田剛さんの天文気象予想　500号到達！
08　新入会員＆団体会員紹介
観測企画 08　緊急企画(案)火星大接近！大口径50㎝ニュートン鏡で惑星撮影！
天文ニュース 08　火星ダストストーム発生
観望会 09　「2018.06.16 久住高原・星空の巡り」に参加
天文工作 10　トライバーティノフマスク作り
緩やかな時間 10　梅雨時期の星花遊び：木星
10　みなみじゅうじのコーヒーの香り
偲ぶ 10　阿蘇野修司さんの思い出
個人観測 11　2018.06.01のガクルックスハント失敗
施設紹介 12　大分県と近県のプラネタリウム
天体写真集 13-20　報告画像ギャラリー

編集部便り

まだまだ先、と思っていた梅雨入りが、あまりに突然にやってきた5月末でした。降らなきゃ降らないで、それは困りますから、その間は少し姿勢を低くして耐え忍ぶしかありませんね・・・と思っていたら、今年はしとしと降り続く梅雨ではなく、晴れる時には晴れる、その繰り返しです。却って梅雨の合間の澄んだ空がやってきたりもしました。庭に出てみると、とても6月とは思えない寒さで、なんと暖房器具をしまうことができず、真冬の防寒着を身に纏って撮影した日もありました。

そのせいか、我が家の宇宙あさがおは、異常事態が発生しており、種蒔きして1週間しても芽が出ない、出たかと思うと双葉を地上に引き出せず、茎のところで折れる、の連続、防寒具を纏っても肝が冷えました。6月末になって突然の蒸し暑さが襲ってきて、暑いのが苦手な編集は一気に夏バテモードに、しかし宇宙あさがおは「これを待っていた」と言わんばかりに続々と芽を出し、きれいな双葉に行きつきました。
間もなく、梅雨も終わりでしょう、これまで蓄えた皆さんの力も梅雨明けに一気に開花しますように！

編集：2018年07/05
収載画像　インフォメーション（NO.4367）から
インフォメーション（NO.4439）まで
No.4437は次号掲載予定

編　集　者：　藤吉健児
発行責任者：　山本幸司（会長）
記事内容などに質問・ご意見有るときは
大分天文協会事務局までご連絡ください。

大分天文協会事務局
〒870-0924大分市牧3-13-30
TEL：097-556-9565　ＦＡＸ：097-556-5067
お急ぎの時は090-1923-7889　24時間 ＯＫ
wae@fat.coara.or.jp
大分天文協会ホームページ
http://astro-oita.org/

July 7 2018

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12 水星が東方最大離角(14:29) 冥王星が衝(18:27)	13	14
15	16 海の日	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 新月　皆既月食 皆既の始まり04:30AM (月没帯食) 火星が衝22:17
29	30	31 火星の今季最接近16:50				

August 8 2018

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 山の日
12	13 10：00 ペルセウス座流星群極大	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2018.07.04 大分天文協会例会集合写真

☆☆　大分天文協会2018年07月例会開催されました　☆☆
2018年度07月の月例会が無事開催されました。
参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

＝＝

日時：07月04日（第一水曜日）　19時より
場所：コンパルホール地下１階団体活動室
参加者（19名）順不同です：
津田・渕・村上・藤吉・井餘田・武石・安元・小田・吉野夫妻・
多田・村上・山本夫妻・奈須・阿部哲也（見学）
文理大天文部3名（石井部長他2名）

主な内容

（1）6月の活動報告

6月02日（土）白丹小学校観望会
・・・30名参加無事開催されました、山本夫婦担当
6月06日（水）例会　コンパル団活
・・・18名参加無事開催されました
6月16日（土）月例観測会(月齢2.3)　香りの森駐車場
6月16日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて
・・・無事開催されました、内那・山本夫婦参加

（2）7月以降の活動計画

【07月】
7月04日（水）例会　＜コンパル団活＞
7月14日（土）月例観測会(月齢1)　香りの森駐車場（予定）
梅雨明けを待ちきれなくて
7月21日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて(予定)
7月28日（土）皆既月食(月没帯食)(朝)　＜各自＞
7月28日（土）月例観測会(月齢15)　香りの森駐車場（予定）
(火星を見よう)文理大・分大・高専天文部との交流会？

【08月】
8月01日（水）星空例会　＜コンパル団活＞　（予定）
(例会の途中に屋上で火星を見ましょう)
8月04日（土）まちなか火星観望会　＜いこいの道？＞（予定）
(七夕まつりの時期ですね)
8月11日（土）～8月13日（月）清和高原スターフェスタ　参加募集
参加予定（8/11：川端）
（8/12：川端・山本・渕・梶原）
（8/13：川端）
8月12日（日）ペルセ流星群:月例観測会(月齢0.7)＜香りの森駐車場＞
8月18日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて(予定)

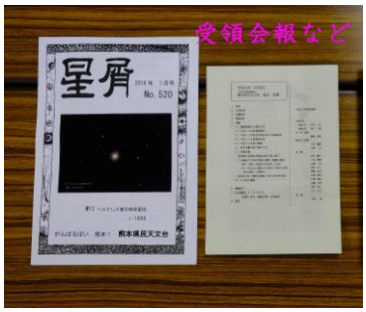
（3）夏の観測計画相談

【08月】
8月11日(土)～13日（月）清和高原スターフェスタ応援参加依頼
※川端副会長は3日間参加予定
協会としては8/12夜参加を計画中。ペルセ観測会もこの日清和で行う予定です。参加者名簿提出が6/10ですので6/9までに参加希望者は事務局まで連絡お願いします。
7/4時点：川端・渕・山本・梶原・吉野
そのほかの11日・13日は各自自由参加とします、参加できる方は事務局まで連絡よろしく！なお、今年はバンガローが確保未定のため宿泊は各自がテントや車中泊でご検討ください。

（4）会報などの紹介

今月も多くの団体から立派な活動の会誌などを
頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

・星屑　NO．520　熊本県民天文台
平成30年度熊本県民天文台総会資料
・ビクセンのＳｏ-Ｔｅｎ-Ｋｅｎ
VOL67:2018夏号
・Kenko　リーフレット　2枚



（5）天文書紹介コーナー

★「日本の星名辞典」紹介
　著者の北尾浩一氏は、大分にも調査に来られ、甲斐和尚や奈須さんをはじめ、大分天文協会もその応援をさせていただきました。その集大成の星名辞典が遂に出版され大変うれしい事です。辞典の中の星空の写真には奈須さんの写真も多数使われています。
（内容紹介：ネットの）
かつて人びとは、星を山や海などの自然景観と重ね合わせて時を知った。それらは仕事や暮らしと密接に結びついていた。漁のため、農作業のため、季節により変わる星を眺め、名付けた。本書では著者が四〇年にわたって収集してきた日本各地に伝わる星の呼び名、野尻抱影『日本の星』以降の全国の和名研究家の収集成果を解説した。
星名の索引付き。

★「NGC・IC天体写真総カタログ」紹介
　DSO (Deep-Sky Objects)の観測・撮影する方のバイブル的写真集がこの本ですね！　少しお値段は張るのですが、是非手元に置きたい本でもあります。その写真集を手に入れた藤吉さんが、「いいでしょう！！！！」と紹介してくれました！（ありがとう・・・少し羨やましい・(笑)）メシエ天体を制覇した、Ｆ吉さん・Ｙ元さん、「次は、全ＮＧＣ天体制覇を目指してください！！！」と皆からエールが飛んでましたよ！！！ＮＧＣ天体って…全部で幾つあったけ？？えっ！　7840個！！！！！ちょっと多いかな？？？？・(笑)

（6）日本文理大学天文部の皆さん来られました。
　先月に引き続き7月例会にも、日本文理大学天文部から、石井部長さんをはじめ計3名の天文部員さんが例会に参加されました。夏休みにはプラネの見学に行きたいそうです、楽しんでください！天文部の皆さん、ありがとうございました！！今後もよろしく！！！！

（7）内那さん272個目のSOHO新彗星発見！
大分天文協会会員の内那さんのSOHO新彗星発見記録が272個と増えました！！！(記事もご参照ください)

6/7の260個目、6/8の261個目、6/9の262個目、6/9の263個目、6/15の264個目、6/16の265個目、6/18の266個目、6/20の267個目、6/21の268個目、6/22の269個目、6/24の270個目、6/26の271個目、そして、6/27の272個目！！！！！！6月は、何と13個もの新彗星発見、凄すぎるどこまで続くのでしょうか！！！中には発見報告が6秒差で、同時に二人で発見となったものもあるそうですよ！

（8）会誌「NEWアストロインフォメーション」発行報告
　(暫定)編集長に就任した藤吉さんからNEWアストロインフォメーション№098号発行報告がありました。98号は26ページ4.6MBと更にボリュウムも中身も増加しました。おかげで、ますます見ごたえある会誌となりました。観測投稿した会員の皆さんと藤吉編集長に感謝です。また、6月には№098号のほかに、03月以前のバックナンバー版も以下の2号が発行されました。
6/15：NEWアストロ・インフォメーション2018.02（NO.094-99）
6/25：NEWアストロ・インフォメーション2018.01（NO.094-98）

　大分天文協会の情報の多くはIT版ミニインフォメーションで配信されてますが、そのメールを会誌としてまとめていただけることは本当に貴重な財産になりますからありがたいです！！！
　なお、Yahoo!ボックスにこれまでの会誌をアップしてますので、そこからダウンロードしてください。(バックナンバーアドレスは後述)

（9）多田さん再々来襲・阿部さん連続例会見学！！！
　5月例会に引き続き、四国高松在住の多田さんが例会に駆けつけてくれました！遠い九州まで、本当にお疲れ様です。例会と言ってもワイワイガヤガヤおしゃべり中心なので、技術面などのメリットはそれほど多くは無いかもしれませんが、大分らしい☆スキ人の楽しい集まりが気に入っていただけてるのかもしれませんね！ありがたい事です！！！
　また、阿部哲也さんも引き続き見学に来られました。何時天文協会に復活してくれるのか？楽しみです！

（10）お土産・プレゼント
★・ビクセンのＳｏ-Ｔｅｎ-ＫｅｎVOL67:2018夏号
　・Kenko　リーフレット　2枚
　　が、奈須さんから例会参加者全員に配布されました（感謝）
★高知銘菓「野根まんじゅう」を多田さんから
　　お土産に頂きました、いつもありがとうございます。このまんじゅう・・・美味しいのは無論ですが、その形が小惑星「イトカワ」に似ていると星屋らしい感想が出て盛り上がりました！・(笑)
★香りの森からのプレゼント
　　香りの森と言えば、天文協会のよく行く観測地。この地は、市内からも近く空も暗い観測好適地ですが、もともとはラベンダー園というくらい、6月には良い香りのラベンダーが咲き誇り素敵な香りで包まれます。そのラベンダーのお祭りがあり、摘み取りが出来ます。星の聖地：香りの森産のラベンダーを山本久美さんが摘んできて、それを使ってラベンダーステックや匂い袋を作ったそうで、参加の皆さんにプレゼントされました。香りの森には、昼も夜も楽しませてもらえます！！！

（11）天文Ｔシャツ紹介
星好きの集まる例会ですから、中には星に関するグッズや洋服で星（正）装してくる方も居ます(笑)
5月例会に天文Ｔシャツを着てきたＦ吉さんは、今月も…何やら星に関係しているような天文Ｔシャツを着ているではないですか！！！！
よく探してくるものだと、あきれるような、羨ましい様な！・(笑)

（12）「今月のオークション」コーナー
　　「南限ギリギリ天体観測＆天文気象講座」
　　「機材・お宝紹介」コーナー
　　「画像処理セミナー」
　　・・・今月はお休みでした。

アストロインフォメイション感想　：豊福@福岡星の会　様

立派な会誌を送っていただいてる、会友の福岡星の会:豊福様から、NEWアストロ・インフォメーション2018.06（NO.098）の受領お礼と感想が届きましたので、ご紹介いたします。互いに良い刺激を交換で来たら楽しですね！！！
編集長の力作が続いています、会員の皆様も是非、感想・ご意見などお届けください、励みになりますので！！！

事務局

山本さん、こんばんは、豊福@福岡星の会です。梅雨入りして初めの数日は晴れの日がありましたが、その後は文字通り梅雨空が続き、接近間近の火星をなかなか見られず、少々欲求不満が募る日々です。
アストロインフォメイションの送付ありがとうございました。山本さんのメールは早速当会会員にもMLで本文のみ転送し情報共有をいたしました。「Yahoo!ボックス」からも問題なくDLできましたので、恐らく多くの会員が同URLからDLすることと思います。
いつもながら活動の活発な大分天の様子を見るにつけ、活動の低調な当会の状況を嘆かわしくも思っています。当会は公共施設への出張観望会等の開催事例がほとんど無く、また、会の定期的例会の開催回数も年に数回しかありませんので、なかなか活動の活発化が望めないのが現状です。大分天のアストロインフォメイションをみることで、当会会員の活動活発化を望んでいるところです。
そのような低調の当会ではありますが、先日６月２日、懇親会を開催しました。実はこの日は、当会の「創立５０周年記念日」に当たっておりまして、その祝賀会代わりに開催したものです。本来ならば、盛大に「創立５０周年記念祝賀会」を開催したいところでしたが、現在の当会の低調な活動状況では「笛吹けど踊らず」で、結局はささやかな懇親会でお茶を濁すこととなりました。
このような少々残念な状況ではありましたが、懇親会には先日お送りいただいた紙媒体のアストロインフォメイションを持参し、皆に回覧しました。みな、目を輝かして読んでいましたが、当会で天文雑誌の投稿写真入選の常連である、夏井勲さんは、「家でじっくり読みたいので貸して下さい」と自宅に持ち帰られました。きっと、写真撮影に役立つ情報を見つけたのでしょう。
このように、アストロインフォメイションは当会会員にとっても有用な情報ですので、今後ともよろしくお願いいたします。
それでは、早く晴れの日が多くなって、火星をじっくり観察できることを願いながら、今回はこの辺で失礼いたします

☆☆☆☆☆☆☆☆
豊福 隆夫
☆☆☆☆☆☆☆☆

アストロインフォメイション感想

☆☆「　NEWアストロ・インフォメーション2018.06（NO.098）号　感想その2　」　☆☆
会誌をご覧に成った会員から感想が以下のような感想が届いていますのでご紹介いたします。
評判良いですね！！特にHQ版！！！編集長の励みにもなると思いますので感想やご意見を送ってくれると嬉しいです！！！

事務局

足立 紀彦 さん
編集長には感謝感謝です。
よくできていますので、何も言うことはございません。
言うことがあるとすればひとつだけ。
写真に添付すべきデータを統一してもらいたいことです。
私も含め、やはり投稿作品を参考に色々と勉強している方も
多いかと思いますので、
データも統一した共通のデータを記載いただきたいと思います。
撮影日時、撮影場所、使用機材、設定感度、露出時間、
その他基本データの項目を事務局から指定してはどうでしょうか？
鑑賞写真で終わってしまっては天文協会の名が廃る？

奈須 栄一さん
これは凄く良いですね??
無精な私にも読むことが、出来ます?
編集長のご苦労が見えます??
ありがとうございます(´⌒∇⌒´)

松木 早苗 こんばんは?
幽霊部員の松木です。
ご無沙汰してます。
会報いいですね。
読みやすくて、携帯でもみやすいです。
これからも、応援してます。

アストロインフォメイションバックナンバーご案内

大分天文協会の会報として、ニューアストロインフォメイションを2018年03月から発行を再開しています。今回の7月号まで、毎月1回発行しています。
なお、さかのぼって、
第94.99号2018年02月
第94.98号2018年01月
を発行しました。それぞれYahoo!ボックスからダウンロードが可能です

次のアドレス(リンク)から目的に応じてお好きな方を
ダウンロードしてください
（左上の青い矢印のダウンロードをクリック）

1）通常（通常PDF版：3～5M）A4版
一般的閲覧・一般印刷機による印刷用はこちらでどうぞ。

・2018.01（094.98）号　https://yahoo.jp/box/dulLRu
・2018.02（094.99）号　https://yahoo.jp/box/sw8gKq
・2018.03（095）号 https://yahoo.jp/box/BkGw61
・2018.04（096）号　https://yahoo.jp/box/lP2hCW
・2018.05（097）号　https://yahoo.jp/box/j6CZ3e
・2018.06（098）号　https://yahoo.jp/box/ekTjsf

2）HQ版（ハイクオリティー版：30M前後）
タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として
読むスタイル（指を使った拡大操作が可能）に対応
出来るように紙面サイズを非常に大きく、掲載画像の
クオリティもあげてます。
高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。

・2018.01（094.98）号　https://yahoo.jp/box/VQkW0h
・2018.02（094.99）号　https://yahoo.jp/box/6reqmQ
・2018.03（095）号　https://yahoo.jp/box/YEAULE
・2018.04（096）号　https://yahoo.jp/box/cl81_m
・2018.05（097）号　https://yahoo.jp/box/rHMdVN
・2018.06（098）号　https://yahoo.jp/box/9x5buk

内那さん260～272個目のSOHO新彗星発見！

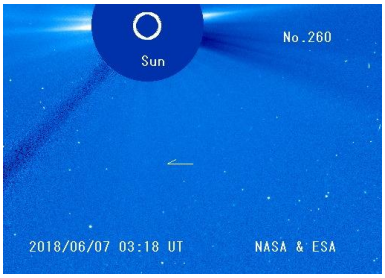
大分天文協会会員の内那さんが、6/7に今年3個目、通算では260個目の272個のSOHO新彗星を発見され、その後続々と新彗星を発見されました。
6/7の260個目、6/8の261個目、6/9の262個目、6/9の263個目、6/15の264個目、6/16の265個目、6/18の266個目、6/20の267個目、そして、6/21の268個目、6/21の268個目、6/22の269個目
そして、6/24の270個目、6/24の270個目、6/26の271個目そして、6/27の272個目！！！！！！
6月は、何と13個もの新彗星発見、凄すぎるどこまで続くのでしょうか！！！！！
おめでとうございます！そして、お疲れ様です！

事務局

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/6/7、02h42m～03h18mの3枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。02h42mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=541、Y=680、(1024X1024、Upper Left)です。
SOHO彗星は今年3個目、通算では260個目の彗星となりました。
(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3 images of Jun/07/2018.

内那　政憲

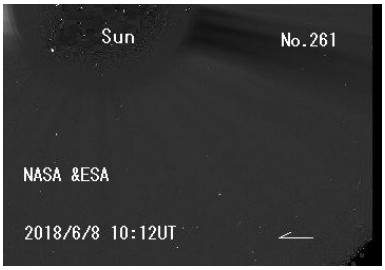


内那さん261個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2018/6/8、09h12m～09h24mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。
09h12mの画像上の彗星のピクセル座標は、
X=417、Y=554、(512X512、Upper Left)です。
SOHO彗星は今年4個目、通算では261個目の彗星となりました。
(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Jun/08/2018.

内那　政憲

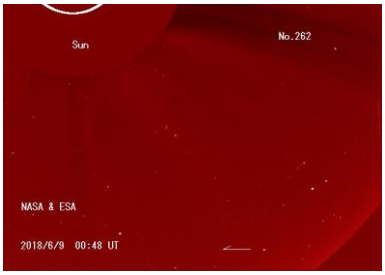


内那さん262個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/6/9、00h36m～00h48mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。00h36mの画像上の彗星のピクセル座標は、
X=756、Y=997、(1024X1024、Upper Left)です。
見逃してしまうかも知れないほどの小さく微かな光芒の彗星です。
SOHO彗星は今年5個目、通算では262個目の彗星となりました。
(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jun/09/2018.

内那　政憲

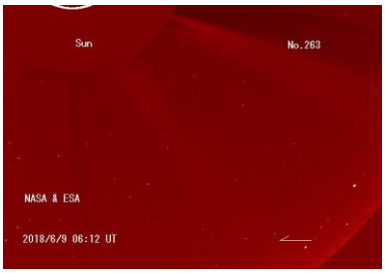


内那さん263個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/6/9、06h12m～06h24mの2枚の像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。06h12mの画像上の彗星のピクセル座標は、
X=846、Y=977、(1024X1024、Upper Left)です。
こちらも見逃したかも知れないほどの小さく微かな光芒の彗星です。
この３日間で４個の彗星を発見しましたが、今までの約11年半の捜索活動の中では、初めての事です。SOHO彗星は今年6個目、通算では263個目の彗星となりました。
(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jun/09/2018.

内那　政憲



内那さん264個目のSOHO新彗星発見！

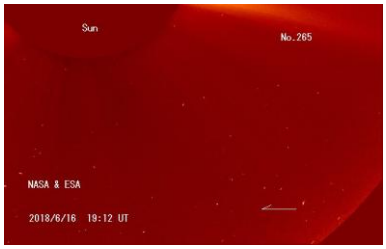
私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2018/6/15、10h36m～10h48mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。10h36mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=421、Y=500、(512X512、Upper Left)です。SOHO彗星は今年7個目、通算では264個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Jun/15/2018.

内那　政憲

内那さん265個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/6/16、18h24m～18h36mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。18h24mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=807、Y=996、(1024X1024、Upper Left)です。非常に淡く微かな光芒の彗星でした。SOHO彗星は今年8個目、通算では265個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jun/16/2018.

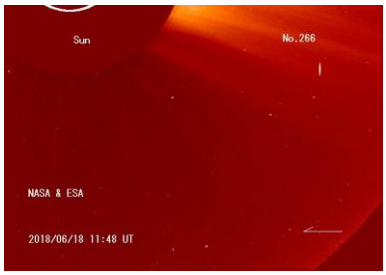
内那　政憲



内那さん266個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/6/18、10h36m～11h00mの4枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。10h36mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=892、Y=1006、(1024X1024、Upper Left)です。6月16日の彗星と同様、非常に淡く微かな光芒の彗星でした。SOHO彗星は今年9個目、通算では266個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jun/18/2018.

内那　政憲



内那さん267個目のSOHO新彗星発見！

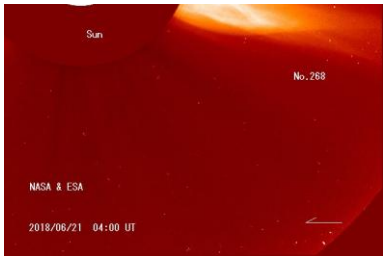
私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2018/6/20、07h24m～07h36mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。07h24mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=432、Y=559、(512X512、Upper Left)です。SOHO彗星は今年10個目、通算では267個目の彗星となりました。昨年は、この時点で、16個の彗星を発見していましたので、昨年のペースには、まだ、達していません。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Jun/20/2018.

内那　政憲

内那さん268個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/6/21、03h12m～03h24mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。03h12mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=888、Y=997、(1024X1024、Upper Left)です。SOHO彗星は今年11個目、通算では268個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jun/21/2018.

内那　政憲



内那さん269個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2018/6/23、14h36m～14h58mの3枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。14h36mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=460、Y=561、(512X512、Upper Left)、画像のぎりぎり端に出現し、次の画像では、彗星と確信しました。6月中の発見は10個となり、SOHO彗星は今年12個目、通算では269個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

この彗星は、タイのWorachate Boonplodも、LASCO-C3画像から独立に発見し、私の通報に6秒遅れて報告しました。私の通報から15秒以内の通報ですので、彼も同時発見者となります。

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Jun/23/2018.

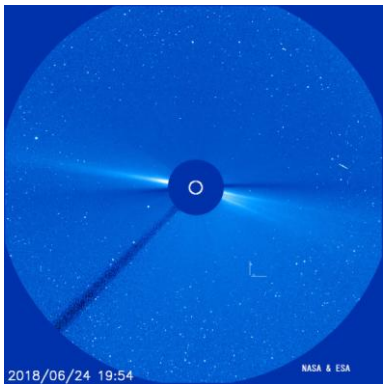
内那　政憲

内那さん270個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/6/24、19h54m～20h30mの4枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。19h54mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=664、Y=733、(1024X1024、Upper Left)です。SOHO彗星の6月中の発見は11個となり、私の月間発見数を更新しました。今年13個目、通算では270個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります) 画像は、発見位置が分かりやすいように、カットせずにアップしました。彗星は、現在、太陽に向って移動していますが、しばらくすると、C2画像にも入ってきます。

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3 images of Jun/24/2018.

内那　政憲

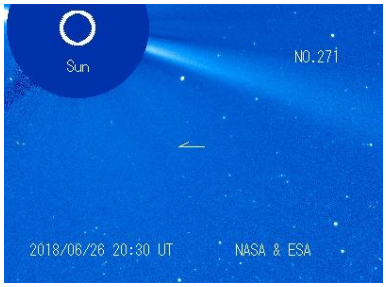


内那さん271個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/6/26、21h42m～22h06mの3の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。21h42mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=619、Y=610、(1024X1024、Upper Left)です。C3画像では、小さく微かな光芒でしたが、C2画像では、その存在は、ハッキリと分かりました。SOHO彗星の6月中の発見は12個となりました。今年14個目、通算では271個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3 images of Jun/26/2018.

内那　政憲

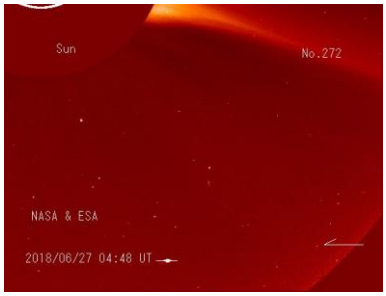


内那さん272個目のSOHO新彗星発見！

私(内那)は、太陽観測衛SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2018/6/27、04h48m～05h00mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。04h48mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=931、Y=953、(1024X1024、Upper Left)です。SOHO彗星の6月中の発見は13個となりました。また、SOHO彗星は今年15個目、通算では272個目の彗星となりました。(ほかに２個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of Jun/27/2018.

内那　政憲



「コメットハンター」Wikipediaより抜粋

1996年には太陽観測衛星SOHOが観測を始め、その副産物として、クロイツ群に属する彗星が極めて多数発見されるようになった。これらはそのほとんどが、太陽に非常に接近し消滅していく小彗星である。これらの理由が重なり、彗星の発見数は激増した。彗星の年間発見数は1990年代に入ってようやく20個を超えるようになった程度であったが、2004年の年間発見数は217個に達した。そのうちSOHO彗星が169個、自動捜索プロジェクトや天文台などの名前が付いているのが32個、人名が付いているのが11個、人工衛星の名前が付いているのが2個、周期彗星の回帰と分かったのが1個、自動捜索プロジェクトと人名の両方がついているのが1個、未定が1個である。このように、SOHO彗星を除いても人名が付いている彗星は4分の1程度という状況であり、彗星捜索を諦めたコメットハンターもかなり出てきている。しかし、今なお昔と変わらない方法で彗星を発見しているコメットハンターもいる。

このような状況で、インターネット上で彗星捜索をするという、全く新しい方法も現れている。SOHO衛星の撮影した最新の太陽画像はインターネット上に公開されており[1]、その中でもLASCO C2、C3というカメラの画像には太陽の周辺が写されていることから、全くの一般人でも、この画像をチェックしていれば新彗星を発見できるチャンスがある。実際、**この画像から既に十数個もの彗星を発見した「コメットハンター」もいる。**また、SOHOには他にも、ほぼ全天を撮影しているSWANという観測機器もあり、この画像からも、既に複数のアマチュア天文家が彗星を発見している。このように、彗星の捜索方法は大きく変化している。

津田剛さんの天文気象予想　500号到達！

津田さんから、大分地方天体観測用天気予想、第500号が届きました、ありがとうございます！　遂に切番の500号ですね、何時も貴重な情報ありがとうございます。これからも、大分を中心とした地域限定で構いませんので星屋に役立つ予想をよろしくお願いいたします。
おっ！！！いつの間にか台風が！！！！嫌な時期になりましたね・・・

事務局

天文気象予想第500号をお届けします
〈天文〉
　満月が赤みがかって見える「ストロベリームーン」と呼ばれる現象が28日夜、日本各地で観測された。東京都港区では日が沈んでしばらくした後の午後7時25分ごろ、東南東の方角に姿を現した。大阪でも見られた。国立天文台によると、北米大陸の先住民が、イチゴの収穫時期に昇る赤い月を呼んだのが始まりとされる。地平線に近いところにあるとき、月の光が大気の層を長く通り、波長の長い赤い光が残って起こる。夕日が赤く見えるのと同じ原理で、空の低いところを通る夏至前後に観測しやすい。

(気象)
●記録的に早い「連続真夏日」
　今週は、関東から西の広い範囲で「真夏のような暑さ」が続いています。東京では、28日(木)も最高気温が30度を超えて、6月としては13年ぶりに、4日連続の真夏日になりました。まだ6月なのに、これだけ真夏日が続くだけでも体にこたえそうですが、連続真夏日の記録は、まだまだ続きそうです。東京の最高気温は、29日(金)と30日(土)の2日間とも32度の予想。6月に6日連続真夏日なら、1979年6月18日～6月26日以来、39年ぶりのことになります。

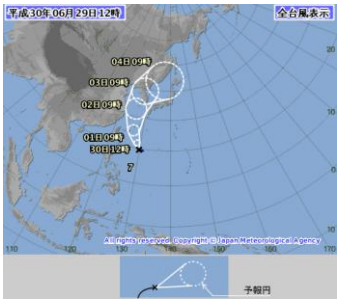
●暑さが続く原因は?　台風のたまごも?
　暑さが続く原因は、日本付近に、南から暖かい空気が流れ込んでいるから。更に、東京は25日(月)～27日(水)は、連日、日照時間が7時間を超えました。暖かい空気に加え、たっぷりの日差しで、気温がグングン上がったのです。週末にかけても、関東付近は高気圧に覆われるため、晴天と暑さが続くでしょう。
　そして、この後の暑さをもたらすのは、高気圧だけではありません。日本の南の海上には「台風のたまご」が発生しました。「台風のたまご」が今後、台風に発達するかどうかは、今の段階ではまだハッキリしませんが、南の海から暖かく湿った空気をたっぷり運んできています。この暖かく湿った空気が、日本付近に流れ込むと、蒸し暑さに拍車をかけることも考えられます。「台風のたまご」の動向にも注意が必要です。

●梅雨明けは　どうやって決める?
　これだけ晴れて暑いと、まるで梅雨明けしたかのようですが、関東甲信地方の梅雨明けは、平年だと7月21日ごろです。この梅雨入りや梅雨明けは、気象庁の週間予報の担当者が、気象予測をもとに検討して発表します。ただ、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候を振り返って、もう1度、梅雨入りや梅雨明けの日を見直しているのです。その結果、年によっては、梅雨入りや梅雨明けの日が変わることもあります。

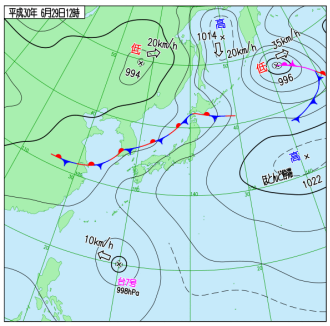
●半端ない暑さ　ジャパンサポーターも　熱中症注意
　こんなに早い時期から暑さが続くと、6月でも熱中症に厳重な警戒が必要です。東京では、この先1週間は、熱中症に「厳重警戒レベル」です。昼だけでなく、夜もこの時期にしては気温が高いので、連日の暑さによって、知らず知らずのうちに、体に疲れがたまってきてしまいそうです。夜遅い時間にサッカー観戦をするなど睡眠不足の方は、特に熱中症にかかりやすくなります。
　記録的な「暑さ」続きの中、「熱い」応援を繰り広げる方は、熱中症など体調を崩さないよう、ご注意下さい。

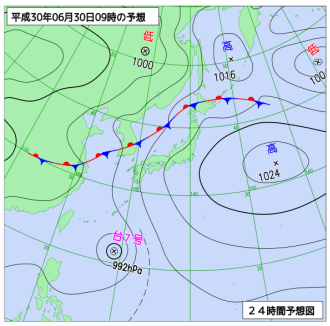
（日本気象協会）

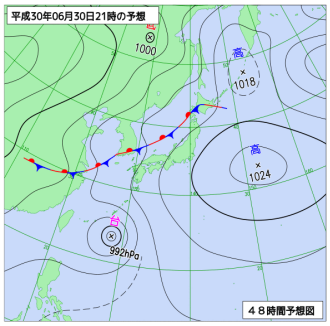
（以下津田です）
　気象庁によると、29日午前9時ごろ、フィリピンの東で熱帯低気圧が台風7号になった。中心の気圧は998ヘクトパスカル、最大風速は18メートル、最大瞬間風速は25メートル。時速約10キロで西へ進んでいる。進路予想図は画像にしめす。

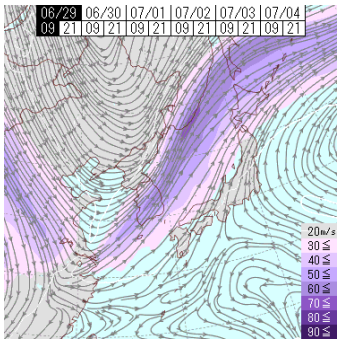


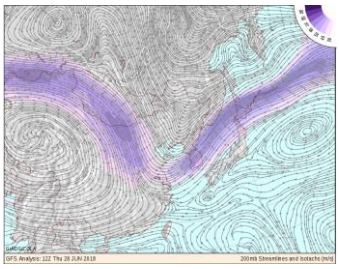
　もう一油。関東甲信越梅雨明けとみられるという発表ありました。史上初の６月中の発表です。大分はまだです。関東の方が先に明けるというのはしばしばあります。
　指数は全県１０、明日も全県１０です。気流の影響の影響も少ないのに残念です。ｐｍは全県ほぼ無いの予想です。

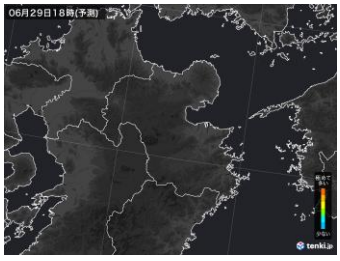


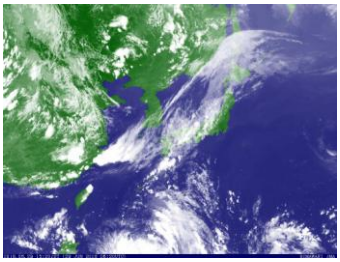












毎日配信いただく、天気概況と予報からなる「天文気象予想」、参考にされている方も多いことと思います。
配信開始から500日、ついに第500号、継続することは大変なことですが、500回続けられていることに、ただただ感嘆です。毎日の予報をすべてインフォメイションに転載することが紙面の都合でできないので、ずっと気になっていました。今回は500回記念号として、2018年6/29(金)配信のその全容を転載させていただきました。
編集部

新入会員＆団体会員

今日は嬉しいお知らせを！！！
５・6月例会に見学に来られていた日本文理大学天文部の皆さんが、団体会員として大分天文協会に入会する事となりました。また、部長の石井綾華さんは一足早く個人会員としても加入されています。改めて、簡単な自己紹介も書いていただきましたのでご紹介させていただきます。現在は大分天文協会には団体会員という会員区分は有りませんので、どのようにお付き合い・活動が出来るか？これから皆で楽しみながら考えていきたいと思います。
理大天文部の皆さん、部長の石井さん、そして顧問の（天文協会会員の）池畑先生、これからもよろしくお願いします、皆で楽しく天文活動しましょう！！！！
独り言：これで平均年齢が凄く下がった筈！！！・(笑)
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
「団体会員入会申し込み」
名前：日本文理大学天文部
住所: 〒870-0397 大分市一木1727
代表者:石井綾華
顧問:池端義人

天文部の紹介
・歴史：２００３年に天文同好会として会員８名で発足。２００４年に部に昇格。２０１２年に金環日食観測のため、鹿児島県に遠征。
・活動：毎週火曜日の昼休みに集会。流星群の日は、都合がつく人たちで集まり、
大分県内の晴れた場所で観測。その他、晴れているときに時折集まって観測。
・部員数：約４０名。

私の紹介
日本文理大学天文部で部長を務めています、石井綾華です。小さいときに、佐賀関の海星館に行ったことから星に興味を持ちました。中高生の時は、長期休みを利用して県外のプラネタリウムへ足を運んでいました。大学に入り、天文部へ入部し、実際に星を観測することの楽しさを知りました。現在は天文部の部長として活動しています。

緊急企画(案)火星大接近！大口径50㎝ニュートン鏡で惑星撮影！

川端副会長から
緊急企画（案）：「火星大接近！大口径50㎝ニュートン鏡で惑星撮影！！」
が届きました、ありがとうございます。
清和高原天文台の50㎝大型望遠鏡で惑星を撮影するチャンスですね！色々条件なども有るでしょうが、天文台に協力（収益・写真公開など）と、大型望遠鏡で観測撮影が出来るgive＆takeですね！！！関心ある方は川端副会長か事務局にご連絡を！！！！

突然ですが、
ご存知の通り今年は火星大接近しますが、誰しも大口径望遠鏡で一度は撮影したいと思いますよね。しかしそれは所詮叶わぬ夢と諦めていませんか。
ところが今回、清和高原天文台の全面協力で、夢の50㎝ニュートン式望遠鏡（苗村鏡）で惑星撮影が出来ることになりました！
貸し切りで朝まで撮影出来ます！

これを超える接近は2035年まで待たねばなりません。このチャンスに大口径で撮影した記録を残しましょう！！
ポイント１）気流状況の良さそうなタイミングを考慮して実施。
ポイント２）鏡筒を冷却ファン仕様に改造し、出来る限り惑星対応します。
ポイント３）撮った写真をどんどん発表して頂く！（天文台のPR）
ご参加希望の方、ご連絡お待ちしてます！

川端　孝幸

火星ダストストーム発生

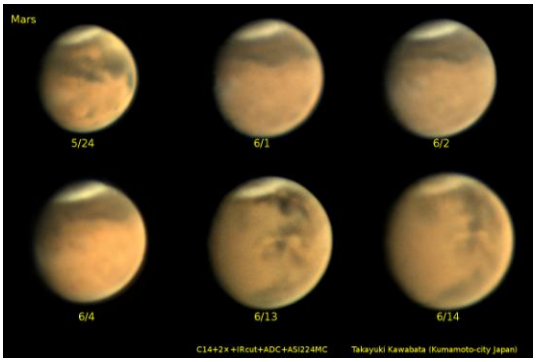
川端さんから、火星ダストストーム発生前後の観測画像がとどきました。ありがとうございます。
dust storm（砂嵐）の範囲が急速に拡大してるようすと、火星と接近して見かけの大きさがどんどん大きくなってる様子が同時によく分る教育的にも価値のある画像ですね、素晴らしい！大接近前に収まってくれることを願うばかりです。てるてる坊主ならぬ、タコ坊主でも吊るしたくなりますね！！！

事務局

火星ダストストーム発生前後の画像　**20180615配信 No4387**

火星ダストストーム発生前後の熊本から撮影出来た画像をまとめてみました。
情報では5月31日ごろに北半球のアキダリア平原からアラビア大陸にかけての地域でダストストームが発生したようだ。撮影した画像を見ると、6月1日には撮影の可能性があったが、ベランダ一族悲しさか、早い時間帯は南側のマンションに遮られて撮影困難時間帯であった。残念。天候も回復して記録出来たのは13日。最初はなんだかよく分からないほど表面の模様が覆われていた。この後も全球を覆いつくすのか、回復に向かうのか、接近してきているこの時期、大いに気になる所です。

川端　孝幸



「2018.06.16 久住高原・星空の巡り」に参加

　毎月第三土曜日にくじゅう花公園で開催される星空観望会に今回も応援団として参加してきました。星友のお二人（菊池さん・薬師寺さん）が望遠鏡を使って星空案内人をされ、県立図書館の馬場氏が解説をされる、星空観察会です。
　今年度4回目の久住高原・星空の巡り、6/16の今回も何とか観測会は成功でした！！！協会からの参加は、山本夫婦二人と、今回は、何と南斗（笑）、協会員で、SOHO新彗星捜索スペシャリストの内那さんもおいでになりました！内那さんは、地元久住のの出身です！また、科学館関係の仲間の石井さん親子も、自前の望遠鏡を持って、先月に引き続き参加です！

　さて、快晴予報の大分県、安心して出撃しました・・・が・・久住は19：30くらいまでは快晴でしたが19：30～20：30くらいの、観測会ゴールデンタイムに厚い雲が広がり、大変苦労しました。久住山の麓特有の山岳天気のようですね！その後は素晴らしく快星と成りました！

18：30　設営準備開始
　菊池・薬師寺氏は、ビクセン20㎝2台と、8㎝くらいの計3台を組み立て。山本夫婦は対空10センチ双眼鏡を準備。まだ明るいので夕日の当たる久住山頂を双眼鏡で覗いてみると、ミヤマキリシマがまだまだ一杯！！これは見ない手は無いと、場内アナウンスしてもらい、早く来ていたお客さんたちに、ミヤマキリシマの鑑賞をしてもらいました（笑）

19：35～19：55
　馬場氏による「星のお話」明るいうちに来場の皆さんに、6月に見える星空などの解説です。観測班の我々は、まだまだ明るい夕空の中、見えてきた　三日月・金星を双眼鏡や望遠鏡でフライング観望開始。石井さん親子が持ってきた望遠鏡をつかって望遠鏡の使い方、観測の仕方の基本をレクチャ！説明書を見るだけではわかりにくいですが、一緒に調整・観測をするとポイントがつかみやすいです。すぐに上達されました！！！！

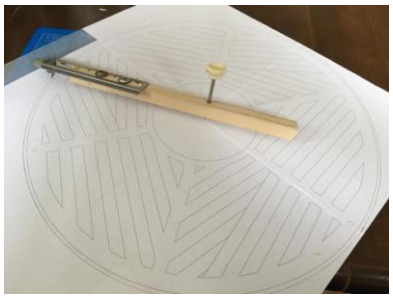
また、周りにいたお客さんに、「まだまだ明るくて見え味はいまいちですが、万一を考えて見えるうちに見ていた方が良いですよ」と声をかけました。…これが正夢ならぬ大当たりになるとは！！！雲が少し増えてきたな・・・と思っていたらあっという間に厚い雲が広がりはじめ、やばいな！と思う間もなく全天を覆ってきました。

20：00　星空ガイド・観測会スタート！
　馬場氏の「星のお話」終了、さあ観望開始・・・のタイミングで全天曇天！！！　なんてこった！！「星のお話」の会場から移動してきた大勢の方々からため息がもれます。「もう見えないの？」「福岡から来たのに残念」とお客さん。「諦めたら終わりです」「チャンスはあります」と励まします！観測班各自、自前の天体写真を紹介したり、望遠鏡の解説をしたりして、雲が切れるのを待ちます。その間、イベントの音楽ライブなどが並行してスタートし、そちらにだいぶのお客さんが流れましたが、諦めきれなく望遠鏡から離れないお客さんも多数あり！普通なら山の雲は時間とともに消えますが、今夜は遠いとはいえ台風の影響も有るかもしれないから心配でしたが、20：30くらいから、雲が切れ出し、月や金星・木星が見えたり見えなかったりしだしました。大急ぎでそれらに望遠鏡を向け、とぎれとぎれですが、多くの方々に観望してもらえました。20：30過ぎから、晴れ間はさらに増え、星座の解説も出来るくらいになり、北斗七星・北極星・春の大曲線・春の大三角・しし座・・・等々も説明できました。
　21：00位から土星も見え始め、低空で見え味はいまいちですが、輪の有る土星は皆さんの大人気！　大声で散らばってた皆さんを呼び戻して土星観望会、ワイワイガヤガヤの大賑わいでした。また、厚い雲に隠れてい三日月も、西空の雲も切れてきて見えだしましたが低空と成り、樹木や建物が障害になりましたが、大型双眼鏡はこんな時にフットワークが良いので、樹木の隙間から月が見える位置に移動して沈む直前まで観望できました。
　21：30　終了、片付け開始。この頃には凄い快星と成り、解散して帰り始めた皆さんに「帰るんですか？」「これから最高の条件ですよ」と声をかけ、居残った熱心な方々に追加でご案内。内那さんが、小型双眼鏡で「ω星団も見える！」と教えてくれたので、大型双眼鏡を向けて残った人で大きな球状星団のω星団をありがたく見ることが出来ました。内那さん、アシスト感謝です！並行して片付けもして、22時くらいに完全終了となりました！！！途中曇りバタバタして慌ただしかったですが、終わってみれば多くの天体を紹介でき、まずまずでした、良かった！！！！
　22：10　帰途に付こうと、駐車場に移動すると、灯りが少ない事も有り、星空はますます冴え渡っていました。　ふと、スマホをかざして星座アプリを使ってるカップルがいました。なかなか星座が見つからないような雰囲気・・・・思わず夫婦で見合って、「行こうか？・(笑)」「星座をご案内しましょうか？」「えっ？良いのですか？」「もちろん、すごい久住の空をご案内します」と、番外編の星空案内を夫婦で始めました。天の川を紹介すると「雲かと思いました」と嬉しい反応！本当に案内のしがいの有る凄い空です。大満足のカップルさんと別れて22：30、帰路につきました。
　天気に翻弄され、バタバタして、狙っていた三日月と金星の写真も撮れず、4時間立ちっぱなし・喋りっぱなしのハードな観望会と成りましたが、すべては結果オーライです。内那さんの写真を撮り忘れたのが残念！！！！当初の予定では、観望会終了後、自分の観測をして帰ろうと準備もしてきましたが、さすがに疲れて・・・諦めました。以前では考えられませんが、流石に・・・歳ですね！・(笑)無理がきかなくなりました・・・
　この観望会は、毎月定例の観察会ですし、終了後は花公園駐車場で居残り観測も出来るようなので（要確認）関心のある方は、お問い合わせの上、参加如何ですか？
　菊池さん・薬師寺さん・馬場さん・・・毎月大変でしょうが頑張ってください！可能なときは、お邪魔虫お助け隊で参加します！協会会員の皆さんも是非参加しませんか？？？

トライバーティノフマスク作り

川端さんから、トライバーティノフマスク作りの報告が届きました。ありがとうございます。
トライバーティノフマスク・・・ピント合わせで使用されている「バーティノフマスク」の原理を応用し、光軸合わせとピント合わせが同時に可能となる「トライバーティノフマスク」便利ですね！！！市販品はまだ限られているようですし、自作も楽しいです・・よね？川端さん！！！今回は手作業の工作のようですが0.75㎜のPP（ポリプロピレン）です作られたようで、端部が切れて宙に浮いている部分も十分の強度があるそうです。シュミカセで惑星撮る方など…観測直前に光軸調整に便利そうですね！！！！

事務局



徒然なるままに、、、トライバーティノフマスク(^.^)　c11用です。　　*川端　孝幸*

梅雨時期の星花遊び：木星

梅雨らしい鬱陶しい天気の大分市、星が見えないストレスから精神状態を保つための毎年の星花遊びです。（生花では無く星花です・(笑)）
今年は火星の大接近ですから惑星をテーマ、まずは太陽系最大の惑星「木星」です。
木星はテイカカズラの落花を使ってます、大赤斑は野イチゴ、ガリレオ衛星はハルジオンの花です。
火星も作りたいですが、赤茶色の色の花知ってますか？？？？

山本　幸司

みなみじゅうじのコーヒーの香り

別府の星友から頼まれた品物を配達したら、お礼に素敵なコーヒーを頂きました。憧れのみなみじゅうじの香りがするコーヒーのようです。どんな香りなんだろ？みなみじゅうじって？楽しみです・(笑)
地平線高度0度付近の「みなみじゅうじ」の一番北の星を大分県内で何とか見たいと10年かけて探した私にとっては、最高のプレゼントです。同じく、その星を探している別府の星仲間にもおすそ分けしました。いつかがクルックスを追ってる仲間のみんなでその星：ガクルックスを見ながらこのコーヒーを飲みたいものです！！！！！

山本　幸司

阿蘇野修司さんの思い出

藤吉さんのω星団を見ると、阿蘇野修司さんを思い出します。
2015.02.15未明に、同じ牧ノ戸観測地でのガクルックス観測に行ったときに、ガクルックスの上にω星団などが肉眼でもつぶつぶが分かるかのように明るく見えていました。その時は阿蘇野さんはガクルックス初出撃・初成功と言う輝かしい戦績をあげられてとても喜んでいました。それから僅か2年少しで星の世界に旅立ってしまうとは夢にも思わなかったです。今日、6/9は、阿蘇野さんのご命日、もう1回忌・1年がたってしまったんですね・・・・昨日(6/8)山本夫婦でお参りに行かせてもらい、阿蘇野さんのお位牌の前に会誌98号をお供えしてきました。奥様とも色々な思い出を話してきました。お互い今でも信じられない気持ちです。
星の世界ではいつでも好きなだけ星が見られるでしょう！安らかにお休みください。
ガクルックス初観測に成功した時の記念写真を貼らせてもらいます。

山本　幸司

2018.06.01のガクルックスハント失敗

まずは、恐れ入りました！！！！！！！！（理由は後述）
藤吉さんから表記の報告が届きました、ありがとうございます。6/1のガクルックス観測は超低空ギリギリの雲に阻まれて残念・・・という報告は会誌98号でも詳細な検証記事として報告されています。（この記事はガクルックスハンターズクラブの隊長の藤吉さんの力作です、南天ギリギリ天体の捜索の成否を、成功例・失敗例を元に、その時の気象画像とのセット比較しやすいようにまとめられてます。九州の南、どの付近の雲は障害になるのか？ならないのか？、とてもよく分かります。南天ぎりぎり天体捜索隊の皆さん、我々のバイブルですよ！！！）
今日の報告も、その延長線かと思ったら、…大間違いでした！一言でいえば、「2年前の2016.03/29未明の時にすでに隊長は撮影に成功していた」・・・という再検証報告でした！まずは、大分県内からのガクルックス観測成功おめでとうございます！！！
当時もかなり画像処理に力を入れて検証したと思いますが、ギリギリ見えるか見えないかで、確証が得られにくかった・・・その時のデータを再検証されたわけですね？その手法は、最近協会内でも再び注目されている「超短時間露出超多数枚スタック」ですね。この手法は、赤道儀が無い（又は追尾が不調）や露出時間が光害などで長く出来ない場合などに有効です。短時間露光では十分な光量に達していない淡い天体を、多数枚コンポジットすることで炙り出すわけです。固定で撮影されている2016年の画像・・・これを星基準としてスタックすると地上風景は流れますが、星は同じ位置で多数枚スタックされますから、1枚画像よりはるかに質は良くなります。それでも、はっきり「星（ガクルックス）だ！！！、ノイズじゃ無いよ！」と証明するためには、日周運動してるのが一番ですので比較明合成すればよいのですが一コマ一コマは1枚撮りの画像が横につながるわけですから画質が悪い。そこで考えたのが「超短時間露出超多数枚スタック」＋「比較明合成」ですね！よくこんな方法思付きましたね？　それとも参考が有ったのでしょうか？驚きです！！！
比較明合成する各々の☆、例えばABCDEの画像があったら、
Aを基準にABCをスタック＝α（Aの位置で3枚スタック）
Bを基準にBCDをスタック＝β（Bの位置で3枚スタック）
Cを基準にCDEをスタック＝γ（Cの位置で3枚スタック）
αβγは3枚スタックしてるから画質が向上してます。そのαβγを比較明合成して高画質の日周運動画像を作る手法ですね！！！
会誌記事は、撮影方法（気象条件）のバイブル本記事は、悪条件下の画像の活用バイブルになりますね！！タイトルは「ハント失敗」と有りますが、2016年のハント（狩）は実は・・成功してたんですね！！！！！おめでとうございます。2016年彼女（ガクルックス）にデート振られた（と思ってた）藤吉さん、実は彼女は「もっとよく見て！よく探して！」と思わせぶりな演技をしてたのですね・(笑)
本記事も後々の活用のため是非、次号の会誌に特集として載せて欲しいです！！！（コメントが長文になり済みません、そのくらい興奮したという事で！・(笑)）

事務局

20180601(金)は、とても安定した気流で、みなさん素晴らしい惑星と出会えたようですが、僕は透明度に誘われて牧ノ戸に行ってきました。ただし奄美上空に分厚い梅雨前線の雲があったので勝算はありませんでしたが。
到着時はとても澄んだ空で、牧ノ戸でこんなに見晴らしがいいのは初めてではないかな？と思います。ただ、阿蘇山の向こうに、夕陽に光る雲が見えておりこれが最終的に災いしました。

暗くなってからも、ほんとに遠くまで見え、ケンタウルスの西の端の星の群れも低空までしっかり見えます。ただやはり遠く山の稜線の向こうの雲が邪魔ですねぇ。奄美の高空の雲と考えてもおかしくはないと思います

70mmF2.8、固定撮影、露に覆われていないので6秒も露出できました。使ったカメラは初出動成功の阿蘇野さんから譲り受けたカメラ。16コマコンポジットしてみましたが、やはりこの低空の分厚い雲が邪魔でガクルックスは見えません。でも自分的にはこんなにぎりぎりまで澄んでいたのは初めてで、ようやくここの山の稜線がどうなっているのかがわかりました。

最近のみなさんの成功例から見る、成功する雲の状態と、僕がこれまで何度も返り討にあった雲の状態、何度も失敗すればその違いみたいなことを少しは考えるだろうから、何度も失敗して、その理由を探って、みんなに伝えなさいよ、と、阿蘇野さんからのご指示なんでしょうね。と思って、6月発行のアストロインフォメイションにまとめて書いています。で、ガクルックスハンターズクラブの隊長に任命されている僕だけが撮れていないというのは口惜しいので、かすかに見えていた2016.03/29未明の撮影画像をいろいろいじってみることにしました。この日は2018.06/01とは違って猛烈なPM2.5に覆われていた日でした。

この日は鹿児島市の西側に雲があるものの奄美の方向には雲はない日でした。この画像を多数枚スタックするとガクルックスが浮かび上がることを確認したのですが、やはり日周運動を見せないとノイズか何だかわからないくらいの微かな光芒です。そこでガクルックスが浮かび上がる最小限の枚数(16枚)をSIで加算平均してそのシリーズを何枚も作って比較明合成すれば、疑似日周運動にできるのでは？と思いつきました。
都合47枚の撮影を、最初の1枚を基準に16コマスタック、
2枚目を基準に16コマスタック、
3枚目を・・・
4枚目を・・・
・・・
32枚目を基準に16コマスタック、
というふうに処理をして、32枚の処理結果を得て、それを比較明合成してみました。ほら！日周運動による動きが再現されました。
見えにくいので核心部分を拡大してみます。後半になると徐々にその光芒は滲み始めているのがわかります。実は32コマではなくその先の40コマ目とか50コマ目とかまで処理してみたのですが、その辺りになるともう見えなくなってしまいますので、西に移動するにつれて後半は鹿児島の西の雲に隠れたんでしょうかね？？(^^ゞ

さて06/01の画像には地形が写っていますのでこれをコンポジットして、実際の稜線に対してどれくらいの位置かというのを見てみると直近の奈須さんの画像と比べて、全く同じ場所ですね。

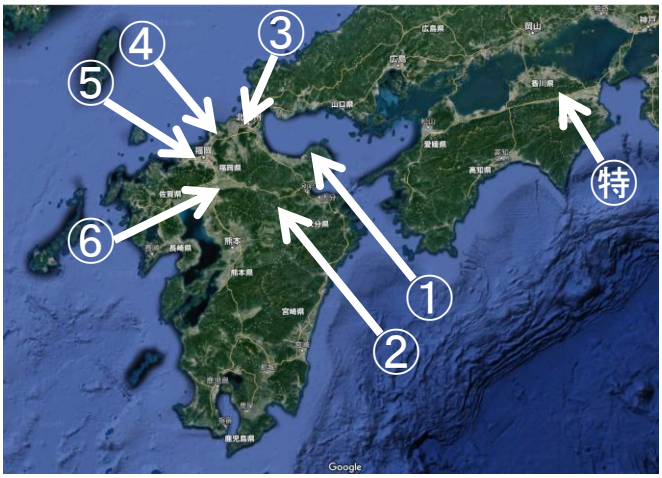
少し溜飲が下がりましたが、みなさんの観測成功例と同じような、もっときらきらとしたガクルックスを、美しく撮りたいとの思いが弥増すばかりです。

藤吉　健児

大分県近隣のプラネタリウム

夏休みだし、プラネタリウムに遊びに行きたい！そういう話が上がってきました。さて・・・
編集は、自由に使える時間のある出張の時は、そこのプラネタリウムを訪れることを楽しみの一つとしていますが、そう言えば大分県内のプラネタリウムには行ったことがない。どこにあるのかな？と調べてみました。調べてみた結果感じた、
「車社会である大分県らしく、自家用車でなければ行かれないようなところにしかそういう施設がない。一番行きたいであろう車を持っていないことが多い世代の人たちはどうやって行くのだろう？結局特急に乗って近県に出かけるしかなく、それでよく、特急だけが充実して各駅停車の列車が減便になるなんて許せない、なんて言えるもんだ、街づくりからして間違っているじゃないか」
というような個人的な感想は、個人的ブログに書けばいいのでここでは書かないことにしますが、とりあえず調べた近県の施設も含めてここにまとめてみます。

編集部



① 大分県立社会教育総合センター 香々地青少年の家
大分県豊後高田市香々地5151
http://www.pref.oita.jp/site/kakaji//
140席のプラネタリウムがあり、2018.07/05現在の利用料金は大人1名230円 高校生は110円、県内の小中学校に通っている人は無料(?)第3日曜日のみ上映！
JR宇佐駅から大交北部バス伊美行きに乗り約45分 香々地青少年の家入口下車徒歩15分

⑤ 福岡市科学館
福岡市中央区六本松4-2-1
https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/
2017年10月に、移転・リニューアルオープンしたばかり。
博多駅から地下鉄で天神へ。地下鉄七隈線で六本松下車

⑥ 福岡県青少年科学館
福岡県久留米市東櫛原町1713
http://www.science.pref.fukuoka.jp/index.html
編集が子供を連れて何度か遊びに行った施設。
天神からの西鉄大牟田線、久留米駅や櫛原駅から徒歩またはバス。JR鹿児島線久留米駅からバス、JR久大線南久留米駅も近い

特 天体望遠鏡博物館
香川県さぬき市多和助光東30-1
（旧 多和小学校）
http://www.telescope-museum.com/
プラネタリウムではありませんが、県外会員の多田さんと関わりの深い施設です。閉校となった小学校の校舎を利用して、全国から集められた種々の望遠鏡が展示されています。
観望会も行われることがあります。
高松からは少々距離があり、高松駅から徳島に向かう高徳線を利用、志度駅またはオレンジタウン駅から、コミュニティバスを利用、とのことです

② 大分県立九重青少年の家
大分県玖珠郡九重町大字田野204-47
http://www.pref.oita.jp/site/kokonoe/
140席のプラネタリウムがあり、2018.07/05現在の利用料金は大人1名230円 高校生は110円、県内の小中学校に通っている人は無料(?)1か月前までに利用申請が必要(?)
JR豊後中村駅から筋湯･九重登山口･牧の戸方面行きで約40分九重青少年の家前下車すぐ(下の地図は南が上になっています)

③ 北九州市立児童文化科学館
北九州市八幡東区桃園三丁目1番5号
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisetsu/menu06_0013.html
編集が高校生の頃足しげく通った科学館です

④ 公益財団法人 宗像(むなかた)ユリックス
福岡県宗像市久原400番地
http://yurix.munakata.com/
80席のプラネタリウム。編集の昔の家からは北九州より近いけれど、その当時はなかったんですよ

報告画像ギャラリー1

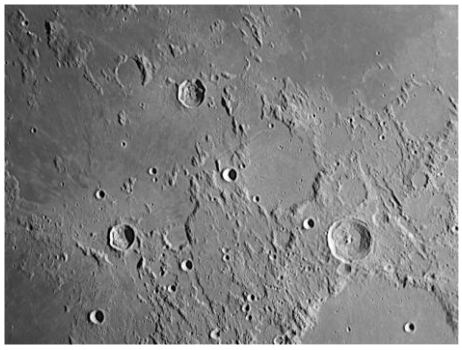
20180608配信 No4369

月面拡大（3月２６日撮影分）

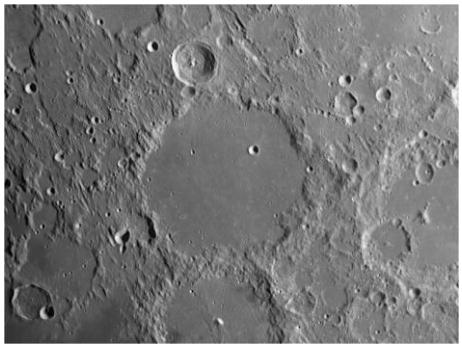
川端　孝幸

今日は雨は降りませんでしたが、一日中くもり。
お星さまは当分ありません(；∀；)仕方ないので未公開画像から(〜;)

1）コペルニクスの夜明け



2）ハーシェル、メスティング、ラランド。
段丘のあるクレーター、フラマリオン谷



3）プトレマイオス周辺

20180609配信 No4370

Aからωまで

藤吉　健児

Aからωまで、と言えば、アルファからオメガまで、英語的にはA to Z、すべて、という意味になりますが今回は素直にエーからオメガまで、です。牧ノ戸で、ケンタウルス座Aとオメガ星団を撮ってきました。赤道儀がなくても写せる天体写真がある、という目でも見てください(笑)固定撮影でも二つの銀河が衝突しているというのがわかりますね♪

NGC5128ケンタウルス座AとNGC5139オメガ星団
Tamron SP70-200mmF2.8(70mmF2.8)
Canon EOS 70D(Ir) ISO6400 6秒×57Fr
固定撮影
DSS(L57D0F0DF0B0)KappaSigma 2xDrizzle
PSCS2 SI8 NeatImage
2018.06/01 21:24　牧ノ戸峠下展望台にて

20180610配信 No4376

梅雨時の木星（6/9）

安元　治義

巨匠の木星像の中に新参者ではありますが
梅雨時の貴重な観測記録として

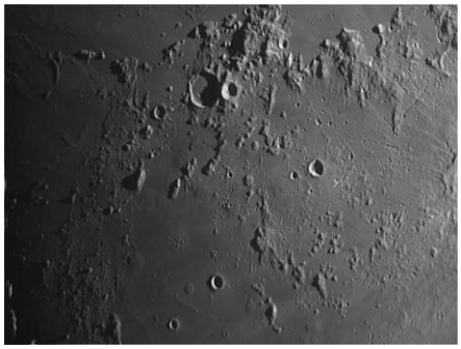
20cm反射Ｆ５直焦点　ASI290MC　3xバロー
ASI2　1.5xDrizzle　　Rejistax6
河内天体観測小屋（自宅）大分県豊後高田市

20180611配信 No4377

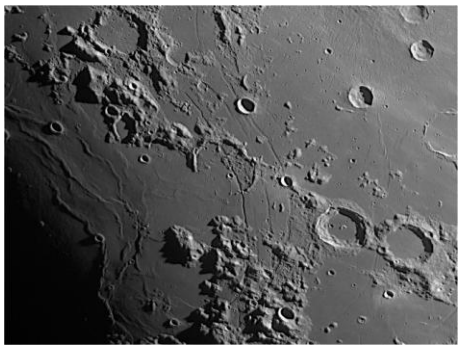
月面拡大（3月２７日撮影分）

川端　孝幸

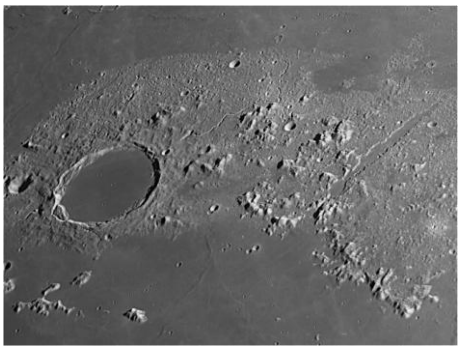
相変わらずの梅雨空、さらに台風の影響か。
今夜も仕方がないので未公開画像から(〜;)



1）ミキリウス・バイ、ミキリウス谷、ゲイリュサック谷、Tマイヤー等々



2）ヒッパルコス、ヒッパルコス谷、アガタルキデス、メルカトル、ケーニッヒ、ケルビン岬、ケルビン壁ほか

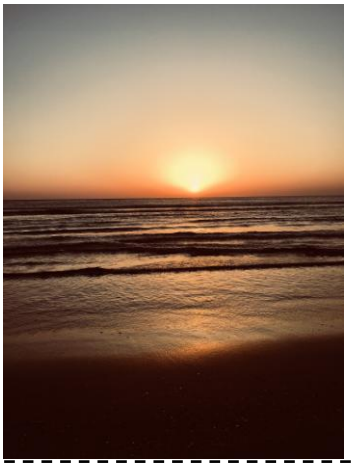


3）プラトー、プラトー谷、アルプス谷周辺（太陽が高くなり影が一段と短くなる）

能登千里浜の夕日（太陽）

井餘田　敏彦

五月二十六日に能登にて、
日本海に沈む夕日を撮影したものです。
このような写真でもいいのでしょうか。



井餘田さんから、素敵な夕日の画像が届きました
ありがとうございます。
夕日・・・太陽ですよね！・(笑)
綺麗で雄大ですね！！！！大分でも国東半島北部に行くと夕日の名所は有りますが日本海・・・視界一杯すべて海に沈む夕日と言うのはやはり素晴らしいですね！！！例会で盗み聞きした話では、ボタ赤も手に入れたそうな？今後は星野写真も期待してますよ！！！！

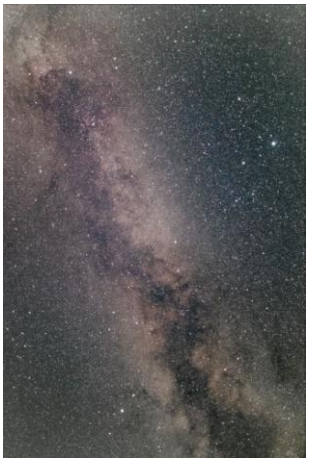
20180611配信 No4378

天の川・夏の大三角

藤吉　健児

月末月初は何かと忙しく、ご報告が遅くなりました。
我が家の庭から撮った天の川です。長焦点である望遠鏡写真は、なんとかごまかしごまかし,
山で撮った画像に近づけるよう努力していますが,
なかなか広角での撮影ではそうもいきません。特筆に値する透明度だった5/24の未明、望遠鏡写真と同じような撮り方、処理の仕方をやってみました。
だいぶ天の川が浮かび上がりましたが、何ともクリーミーな色合いで、やっぱり天の川を撮りに山に行きたいな、との思いが強くなりました

天の川中心方向
Canon EF-S 24mmF2.8(開放)
Canon EOS 70D(Ir) ISO1600 10秒(RAW)×96
Takahashi EM200(AGS-1L) ノータッチ
DSS(L8D26F0DF0B80) Average
CS2 SI8
2018.05/24 01:27AM 自宅庭

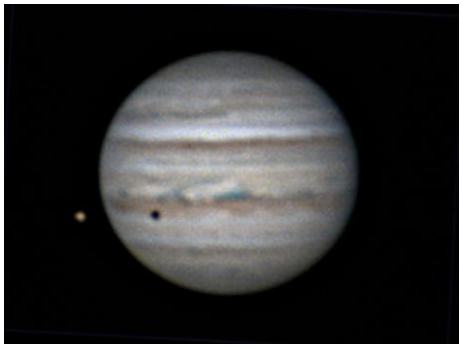


夏の大三角
Canon EF-S 24mmF2.8(開放)
Canon EOS 70D(Ir) ISO1600 10秒(RAW)×8
Takahashi EM200(AGS-1L) ノータッチ
DSS(L8D26F0DF0B80) Average
CS2 SI8　NeatImage
2018.05/24 01:23AM 自宅庭

20180613配信 No4381

昨夜は久々の晴れ（^^）木星土星
川端　孝幸

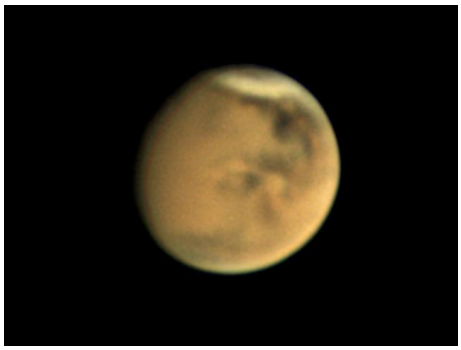
北の大気が流れ込んで気温も下がって涼しくなった。ということはお星さまキラキラ。惑星たちはユラユラでした。コンデション悪いですがご容赦を。まずは木星、イオとその影がアクセントに。
さらに土星。



木星：6/12　23h04m01s、土星：6/13
01h07m39s（JST）

今朝の火星
川端　孝幸

どんどん大きくなってきましたねぇ。土星の視直径は越えました(^^;)　いい条件で見たいですが、気流が落ち着いてくれません。ストレスたまる一方です。処理も上手く行きません。



6/13　04h37m29s（JST）

20180613配信 No4382

中休みの星空:[惑星]と[惑星状]の観測
藤吉　　健児

今年の梅雨は寒いですね！昨夜、中休みの晴れ間だ！と庭に出てみたら、寒くて冬用のスタジアムコートをはおらなければなりませんでした。だからなのか、気流が安定しませんね。木星を撮ってみましたが、かなり細かく動いていて思った以上にぼやけてしまいました。

2018.06/12深夜の木星
Celestron Edge HD800 + Celestron 3xBarlow + ZWO ADC
ASI290MC　+ FireCapture V2.6beta
Frames captured=3825 duration=90sec
ROI=840x780　Shutter=13.00ms　Gain=350
Gamma=35
AS!3+Registax6+SI8+CS2
2018.06/12 22:57 自宅庭

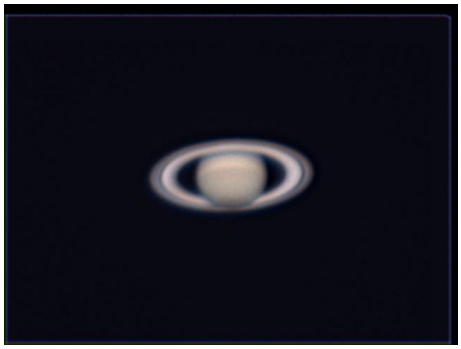
この先土星火星を追いかけても話にならないだろうと思い、鏡筒を載せ換えずに済む、「惑星」ではなく、「惑星状」にターゲットを変更しました。気流が悪ければこちらもシャープにはならないんですけれどね

わし座の惑星状星雲NGC6781
Celestron Edge HD800 (D203f2032)
Canon EOS 70D(Ir) ISO1600 30秒
Takahashi EM200 + PoleMaster ノータッチ手動ディザ
2018.06/13 0:37　自宅庭
DSS (L=93/120D46F0DF0B80) 2xDrizzle
PSCS2(32Bit) SI8 NeatImage

20180613配信 No4383

6月12日の三惑星
安元　治義

目視では木星の筋がやっと見え激しく動いています。こんな日は数撃ちゃ当たる作戦で（ハードディスクの残り 容量を気にしなくて良くなった）サッカー観戦が終わると火星も上がって来ました。観測記録として撃沈



報告画像ギャラリー3

M27

安元　治義

夏の定番の星雲、まだ高度がひくかったのですが
ステラショットまかせの放置撮影（主人はサッカー観戦）

20cm反射Ｆ５直焦点　EOS60D　ISO3200
Light60sec x 60　Dark x 11　flat x8
DSS　2 x Drizzle　　PSEL　NIK
ステラショットディザ　・オートガイド

20180613FBより

吉野　圭司

ADCが届いたので木星を撮ってみました。気流は昨日よりは良さそうです。

SE200N + Kasai 5xBarlow + ZWO ADC + ASI290MC

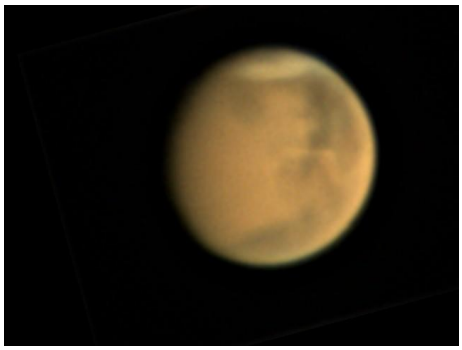
https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1878850158840011&set=gm.2154126124817327&type=3&theater&ifg=1

20180614配信 No4384

今朝の火星（6/14）

川端　孝幸

広範な薄雲襲来。諦めかけましたがGPVで若干パーセンテージが下がる予報になってたので粘ってみました(^^;)　薄雲を通しての撮影にはなりましたが何とかゲット。ブリザード猛威、これ回復に1か月以上かかるのかしら？今後の動向に興味シンシンです（^^）



04h29m54s（JST）

20180614配信 No4385

2018.06.13　イリジウム・フレア

山本　幸司

予報光度は−6等級でしたが、高度10度くらいで光害の中のせいか、せいぜい−2等級くらいにしか見えませんでした。

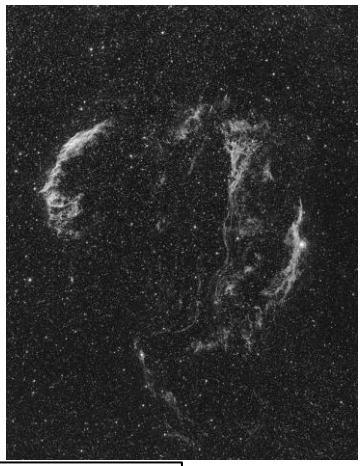
イリジウム・フレア　Iridium 12
2018.06.13　22：15：52　大分市

20180614配信 No4386

ベール星雲

梶原　達夫

梅雨の晴れ間　12日に撮影した白鳥座網状星雲（超新星残骸）です。今まで全体像は撮影したことがなかったので、今回EF300F2.8L USM→3.8にFLI 16200冷却CCDカメラを付けて撮影してみました。
　Astronomik Hα　filter 12nm 600sx10 com 1x1 -25℃　同時にGとBも撮影したのですが、Hα(R)GB合成で思うような色にならず放り投げました。



20180614FBより

奈須　栄一

昨夜は、流星は、一個のみでした。最後が一級のイリジウムフレアです(#^.^#)

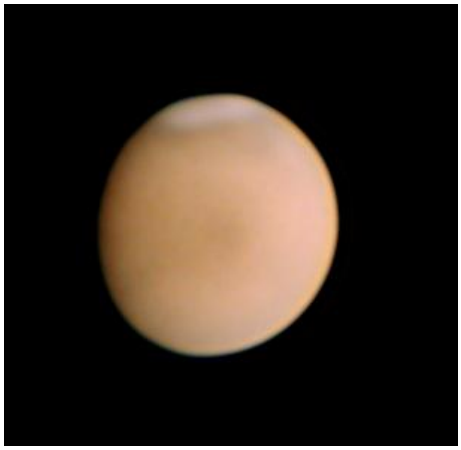
https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1933967786654847&set=pcb.2154408081455798&type=3&theater

20180617配信 No4391

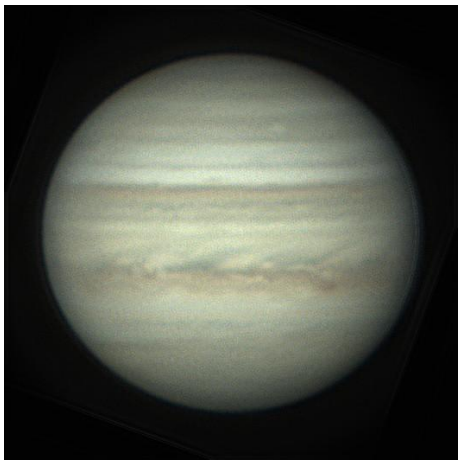
昨夜（6/15～16）の火星と木星

渕　辰夫

田植え時期に入り、連日連夜の作業で疲労がたまり、やっと望遠鏡を出しました。今日の火星は、砂嵐？ツルツルののっぺらぼうでした。
悪気流ですが、木星も撮ってみました。



火星データ：
6月16日00時58分～
25cmF4　5倍バロー　adc asi224mc
赤外カットフィルター
シャッター5ms　240s×1
autostakkert　Registax



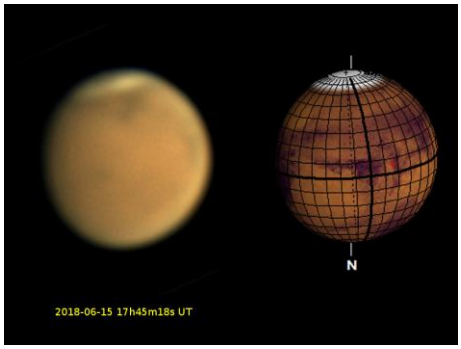
木星データ：
2018年6月15日22時00分～
25cmF4　5倍バロー　adc asi224mc
シャッター10ms　90s×7

20180617配信 No4392

今朝（6/16）の火星

川端　孝幸

晴天ですが気流状況が悪く解像度がありませんが、砂嵐が大半を覆っているようです。薄い部分からわずかに地表の模様が透けてます。
（参考：WinJUPOS）

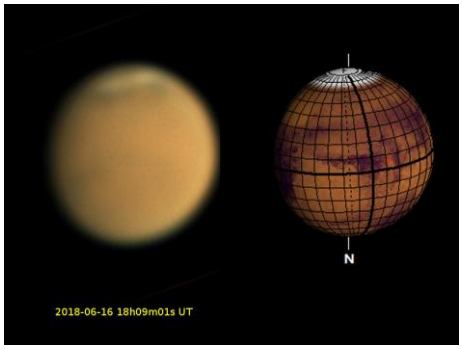


報告画像ギャラリー4

20180617配信 No4394

今朝の火星（6/17）
川端　孝幸

晴天ですが昨日よりさらに気流状況が悪い！詳細が見えずになんとも言えませんが昨日より砂嵐は拡大しているように見えます。（参考：WinJUPOS）
シーイング1～2/10、透明度3/5



20180617配信 No4395

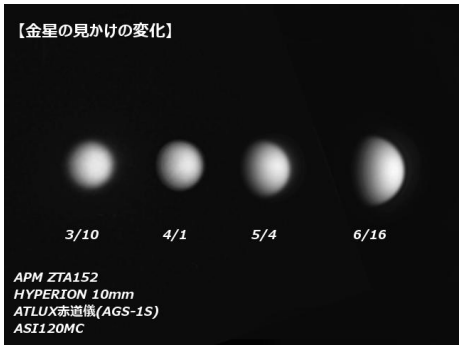
バンビ付近の天の川
内那　政憲

昨夜は、大変お疲れ様でした。FBに載せた写真です。久しぶりにマークXを引っ張り出して、久住の南登山口で、天の川銀河を撮影したものです。極軸望遠鏡の設定に、懐中電灯を使用しての悪戦苦闘の末、何とか設定が出来ました。やはり、いつも、やってないと駄目だということを痛感しました。それにしても、会員の皆さんの写真を拝見させて頂くと、私とは比較にならないほど、素晴らしいものばかりで、驚くばかりです。

20180617配信 No4396

まとめて観測報告
太田　輝章

16日の金星です。12時頃にチャレンジしましたユラユラ状態でしたが、17時頃には撮影レベルでした。太陽が家の影に隠れて筒内気流が安定したためでしょうか。

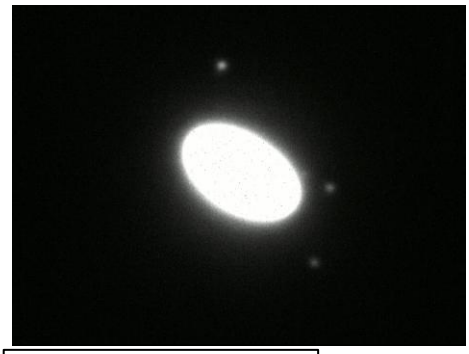


撮影風景です。安心して下さい、はいてますよ。直射日光を避けるのにパラソルを置きました.
ピーチか！パソコンの画面が見にくいので、簡易的にプラ板と黒フェルトで囲いを作って、それを覗きこんでいるところです。前回撮影分も並べて変化を見やすくしました。

陽が暮れ木星が安定して見えていましたので撮影しました。15cmではいつもの通り写り具合のようでしたので、今回は20cmシュミカセでも撮影しました。若干光軸がずれていたのでそこそこ合わせてから撮影しました。が、15cmとそれ程変わらなかったので残念です。南側の家の影響や高度が落ちて、シーイングが若干悪くなったのが原因でしょうか。

土星はパスして火星を撮りましたが模様が見えず。雲もあり枚数も撮れず残念な結果でした。

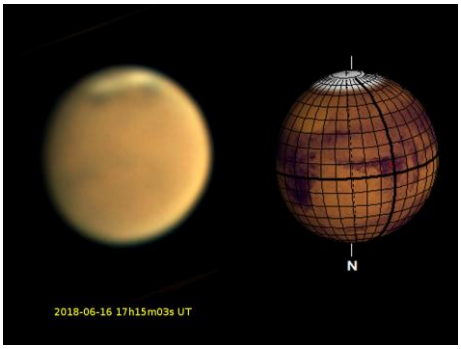
13日の土星画像も添付しますが、50分間で衛星の動きが判りました。衛星の名前を調べる元気もありません。



20180618配信 No4398

今朝（6/17）の火星２
川端　孝幸

一つ前のコマを処理したら多少マシに(^^;)ストームの下にうっすら見える模様も。地域での濃淡はかなりあるようです。（参考：WinJUPOS）
シーイング１～２/１０、透明度３/５



20180619配信 No4399

北アメリカ＆ペリカン星雲
梶原　達夫

少し彩度を落としました、星の色がも少し出ると良いのですが・・・この辺りは星とガスが多く、バックグラウンドと呼ばれる場所を決めかねるので、色合いの調整が難しいです。RとHαをブレンドしてR画像としLRGB合成をしています。

撮影日　2018年6月15日PM11～撮影
　　レンズCanon EF300F2.8 L USM F3.8　FLI 16200 冷却CCDカメラ -25℃
　　L 300sx10 1x1 RG180sx5 BHα300sx5 2x2 ビニング
撮影場所　自宅

20180619配信 No4400

夏の大型散光星雲
藤吉　健児

先週の金曜日(6/15)は、梅雨場特有の澄んだ空気と、梅雨にしては雲のない快晴に恵まれました。
そこで、天の川沿いの大きな散光星雲を狙ってみました。(フラットなしでも絞り開放ならステライメージの周辺減光補正が結構有効ですね)撮影時間を見てもお分かりのように、今回の主眼はIC1396をノイズレスに撮る、でした。当方の主砲SKY90とAPS-Cで撮るには大きすぎる対象ですが、200mmではなかなかうまく表現できませんでしたので気合を入れてみました。と言っても撮影時間が長いだけですが。

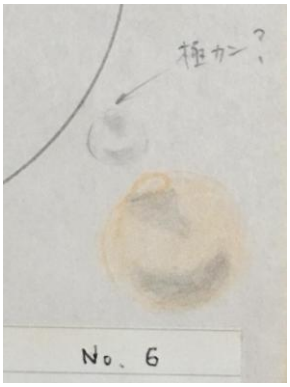
はくちょう座サドル周辺(IC1318)
Tamron SP 70-200mmF2.8 (200mmF2.8)
Astronomik CLS CCD EOS Clip
Canon EOS Kiss X7i(Ir)　ISO1600 60秒×51Fr
Takahashi EM200（AGS-1L）+ PoleMaster ノータッチ
2018.06/15 23:31JST(+0900)自宅庭
DSS(L51D20F0DF0B80)
CS2(32Bit) SI7 NeatImage

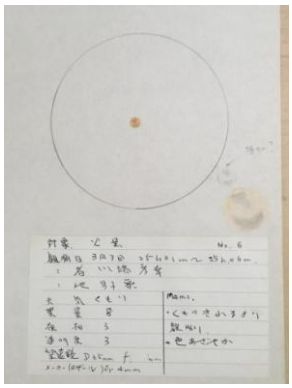
ケフェウス座ガーネットスター周辺(IC1396)
Tamron SP 70-200mmF2.8 (200mmF2.8)
Astronomik CLS CCD EOS Clip
Canon EOS Kiss X7i(Ir)　ISO1600 60秒×152Fr
Takahashi EM200（AGS-1L）+ PoleMaster
　ノータッチ(手動ディザリングあり)
2018.06/26 00:37JST(+0900)自宅庭
DSS(L152D20F0DF0B80)
CS2(32Bit) SI7 NeatImage

20180620配信 No4402

惑星アーカイブ・火星
川端　孝幸

1980年(昭和55)3月2日１時1～6分　65ミリ屈折でのスケッチです。小接近のささやかな記録です(^.^)





20180620配信 No4403

ＬＲＧＢ合成
足立　紀彦

モノクロ冷却CMOSカメラ=ZWO　ASI 1600 MM-CoolとＭｅｗｌｏｎ２５０ＣＲＳによるＬＲＧＢ合成の写真が（やっと！）完成しましたので投稿します。

★　Ｍ１３（ＬＲＧＢ合成～完結！）　★
　ASI1600MM-CoolによるＬＲＧＢ合成写真。フィルターホイールの設定がますます、全てＬ画像で撮っていたり、Mewlonのレデューサーが間に合わなかったりで、悪戦苦闘の日々が続きましたが、昨夜は何とかまとまって晴れてくれたので、とりあえずＬＲＧＢを連続して撮影できました。Flat補正はしましたが、Dark補正はしていません。次回は必ず！！
Telescope=Mewlon250CRS+0.73xRD(FL=1825mm)
Mount=EQ8
Guide=PHD2guiding(ASI120MM-S+FC76)
Camera=ZWO ASI1600MM-Cool
Filter=L
Date=150618
Start=233819.985
Frames captured= L=18 R=9,G=10,B=10(2x2 binning)
Shutter= L=180.0s RGB=120.0s
Gain=220 (36%)
Sensor temperature=-15.1° C
CaptureSoft=FireCapture

★　M20(LRGB~第２弾！！)　★
　Ｍ１３の撮影後、段々透明度を増してきたので、南中過ぎたＭ２０を撮影してみました。ピントの再チェックを怠り、完全の放置プレイだったので、星像は流れピントもイマイチで、上手く捕らえていません。合成も綺麗にあっていません。手を抜くとすぐこうなります。(^-^;)
Telescope=Mewlon250CRS+0.73xRD(FL=1825mm)
Mount=EQ8
Guide=PHD2guiding(ASI120MM-S+FC76)
Camera=ZWO ASI1600MM-Cool
Filter=L~R~G~B
Date=160618
Start=015604.549
Frames captured= L=12 R=10,G=10, B=10
(2x2Binning) Shutter= L=180.0s R,G,B=120.0s
Gain=220 (36%)
Gamma=50
Sensor temperature=-15.1° C
CaptureSoft=FireCapture

20180620配信 No4404

6/16(土)の星空
藤吉　健児

6/16(土)は、前夜と違って薄雲が広がっており出撃や、庭撮りにしても望遠鏡撮影は考えていませんでした。それでも、接近した月と金星がきれいでしたので撮ってみました。

月と金星の接近
Tamron SP70-200mmF2.8(70mmF2.8)
Canon EOS Kiss X4(非改造)
ISO6400　1/100秒
2018.06/16 20:05　自宅2階窓より

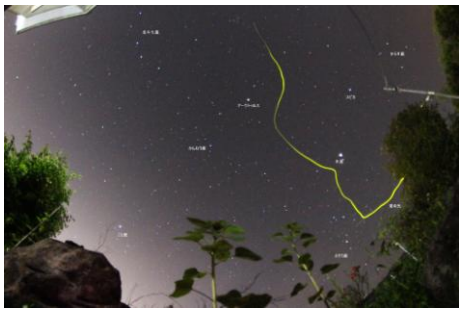
その後意外と雲は増えず、よく星が見えていましたので、以前からずっと気になっていた、我が家のすぐ近くで蛍の復活活動がおこなわれている「冷川」に行ってみました。ここは駐車場もない上に、川沿いにいろんな建物が立ち並んでいて、道路上から川を眺めて、飛んでいるなぁ、と見るしかない(と思いこんでいた)場所なので、なかなか足が向きませんでした。今回食後の運動も兼ねて、歩いてその場まで行ってみたところ、かなり回り道になるのですが遊歩道らしきものがあることに気がつき、店舗や工場の敷地に不法侵入することなく撮影できました。そういうわけでちょっと時期を外したので飛んでいる数は少ないですが天空の星(木星)と地上の星を撮影できました。

天空の星地上の星
Canon EF-S 24mmF2.5(F5.0で撮影)
Canon EOS Kiss X4(非改造)
ISO6400 5秒
2018.06/16 22:54 冷川川沿い(別府市関の江)

報告画像ギャラリー5

20180617FBより

奈須　栄一



https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1938468626204763&set=gm.2156894644540475&type=3&theater&ifg=1

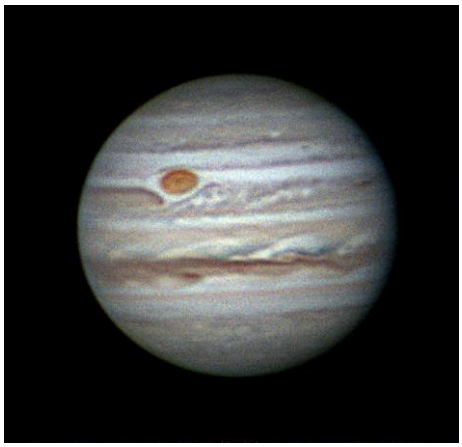
編集部より
奈須さんもFaceBookに地上の流れ星の画像をアップされていました

20180620配信 No4405

6月16日の木星

足立　紀彦

6月16日はシーイングが良かった。梅雨時だと言うのに、このところ結構シーイングが安定してます。梅雨の空でなく秋のようなクリアな空でした。Mewlon250はDSO撮影のため使えずHD800で撮影。



Telescope=EdgeHD800+3xBarlowLens＋ADC...
Mount=EQ6　Camera=ZWO ASI290MC
Filter=IR cut
Diameter=42.85 "　Magnitude=-2.39
CMI=290.7°　CMII=312.9°　CMIII=187.6°
(during mid of capture) FocalLength=7950mm
Date=160618　Start=221805.418
Duration=100.012s　Frames captured=9082
ROI=848x820　FPS (avg.)=90
Shutter=11.01ms　Gain=399 (66%)Gamma=50 (off)

20180622配信 No4409

アンタレス付近再処理

藤吉　健児

手持ちのCanon EFS24mmF2.5が、ステライメージの周辺減光補正でそこそこ画像がまとまる、と思っていたら、FaceBookでのsamyang 135mm F2.0のレンズレポートに、周辺減光がほとんど見られないと書いてあったので、もしかしたら以前撮影した画像も、FlatFrameなしでもそれなりの画像になるんじゃないか？と思って、FlatなしでDSSスタックしてみました。すると・・・。結構周辺減光はないし、そのうえ質の悪いフラットがない分ノイズが激減しました♪先日の200mmでの撮影に引き続き、70mmでも、このレンズを使う機会が増えそうな予感♪

2017年04/29小田の池で撮影したアンタレス周辺再処理
Tamron SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD (Model A009) 70mmF3.5
Canon EOS Kiss X7i(Ir) ISO1600　90秒×34Fr
Takahashi EM200 AGS-1Lノータッチ
2017.04/29　小田の池レストハウス駐車場にて
DSS(L34D24F0DF0B55)　KappaSigmaClipping
Adobe PSCS2　SI8　NeatImage

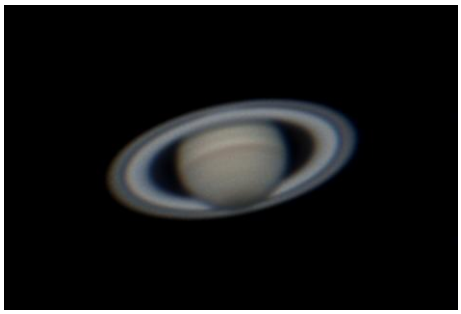
20180623配信 No4410

赤缶土星

梶原　達夫

10数年ぶりに土星を撮影してみました。以前惑星は30cmにビデオカメラを付けてコリメートで撮影し、Aviファイルに変換してRegiStaxで処理をしていましたが、撮影対象が星雲、星団に移ってしまいその後はほとんど撮影していませんでした。今年、例会で赤缶病に感染し思わずポチしてしまい、撮影することになりました。赤缶のファーストライトです。2004年に撮影した画像と今回撮影画像をお送りします。以前の画像とあまり変わらないので少々落ち込んでいます。このシーズンに木星、土星、火星のベストショットが撮れたらいいな～と思っています。

2004



30cm N F6 パワーメイトX4　FireCapture v2.6
Camera=ZWO ASI385MC Filter=IR
Profile=Saturn
CMI=2.5°　CMIII=221.4°　(during mid of capture)
FocalLength=7300mm
Date=210618 Mid=224120.152
Duration=100.028s Frames captured=5000
File type=AVI ROI=752x504
Shutter=20.00ms Gain=401 (66%)Gamma=50
Sensor temperature=30.0°C

20180623配信 No4411

昨夜（6/21）の木星

川端　孝幸

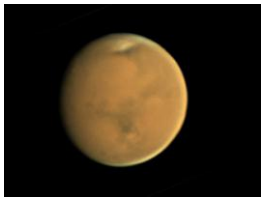
昨夜の木星久々晴れました！！気流はそこそこ、それでも欲目でなんだか美しい（^^）

シーイング4/10、透明度3/5
2018-06-22　20h26m32s（JST）
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

昨夜（6/21）の土星・（6/22）の火星

川端　孝幸

土星が南中し始めるとシーイングが一段良くなってきました。火星が出てくると気流は一進一退。低空に薄雲。それでも梅雨の合間のいい条件の空でした。木星と合計して一晩で400Gのデータと相成りました(^^;)



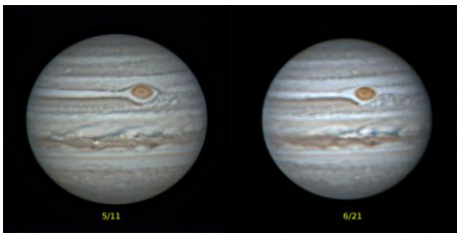
シーイング4～3/10、透明度3～2/5
土星：2018-06-21　23h49m11s（JST）
火星：2018-06-22　02h33m52s（JST）
共通：C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180623配信 No4412

木星（5/11vs6/21）

川端　孝幸

一昨日の好天で久々の木星。衝を過ぎて若干小さくなった木星。大赤斑周りの様子は？？乗り越えていくのかな(^^;)

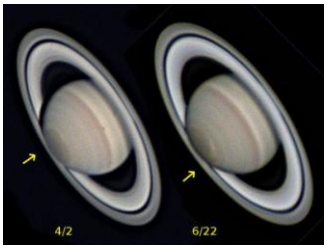


20180623配信 No4412

土星白斑（4/2vs6/22）

川端　孝幸

広がったように見えます。
（4月2日の画像と直近の比較。）



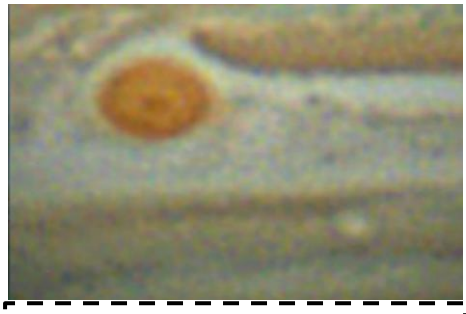
4/2：22㎝ニュートン、6/22：C14

20180625配信 No4417

お恐れながら(^^;)juno vs C14

川端　孝幸

4/1の大赤斑の画像がアップされてたので、大胆比較。撮れてるかどうか確認の意味でも興味ある所。意外と撮れてるかなぁと思ったり、、、。しかしよく見るとGRSは形が合致しないような、、ジュノーの画像は長丸。見てる位置の差かな？



紙面の都合で縦に配置させていただきました(編

20180626配信 No4418

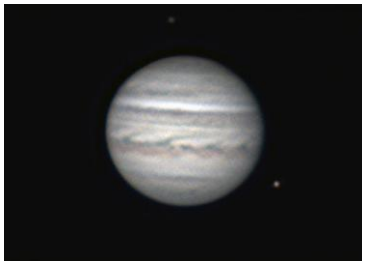
木星と土星

吉野　圭司

吉野さんから、木星と土星観測画像が届きました、ありがとうございます。
日本の大事なセネガル戦の開始直前まで木星・土星を観測されてた吉野さん、気流も一時に比べ少し落ち着いてきましたね！前回より更に綺麗な二大惑星ですね！！！二大惑星とくれば、その後の火星も期待してしましますが、サッカーの試合が終わったころには気流が悪化したそうですね残念でした・・・
でも、日本が引き分けたから良しとしましょうか？（笑）

事務局

木星と２つの衛星
右下がエウロパ、上がカリストです。



2018/6/24 22:47
SE200N+Advanced GT+5xバロー+ADC+ASI290MC

土星
W杯のキックオフの時間が迫る中、何とか土星を導入し撮影出来ました。試合終了後は気流が悪化し、火星の撮影は断念しました。

2018/6/24 23:40
SE200N+Kasai 5xBarlow +ADC
FireCapture v2.6 beta Settings

Camera=ZWO ASI290MC(木星・土星とも)

20180626配信 No4419

2018.06.24.の木星

藤吉　健児

新大阪出張から帰ってきました。また大きな地震があった地区に足を踏み入れ、前震の後の本震を経験するのか？とちょっと不安でしたが、幸い出張中は、6/23(土)の深夜の震度3程度の余震が1度だけでした。帰宅途中は疲れ果てて、帰ったらすぐ寝るぞ！と思っていたのですが、自宅に着いて空を見上げると、瞬きの少ない木星が見えたので撮らずには居れなくなりました(^^ゞ今季最高の画質になりましたが、それはWinJuposのおかげであってシーイングがよかったわけではないようです。それに濃いPM2.5の影響で、かなり暗く見えていました。

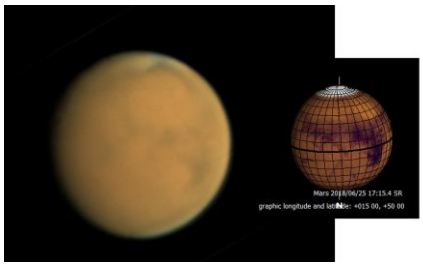
2018.06/24 22:31:00JST(+0900)の木星 自宅庭より
CMI=121.1°　CMII=82.2°　CMIII=319.0°(22:30:37)
Celestron Edge HD800 + Celestron 3xBarlow + ADC
ZWO ASI290MC FireCaptureV2.6beta
Gain380 Gamma40 Shutter13.3msec
Duration60sec Captured Files2600~2700 × 11Fr
ROI=760x714 FocalLength=7400mm
WinJupos 11Fr Derotation(22：26～22：37)
AS!3　Registax6　SI7　PSCS2

20180626配信 No4420

昨夜（6/25-26）の火星と土星

川端　孝幸

今朝はもう雨。一昨日のリベンジで何とかゲット。しかしほとんどダストストーム。わずかに透けて地形が見える。収束はまだ遠い(；∀；)



シーイング4/10、透明度3/5
2018-06-26　02h39m25s（JST）
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC
ZWO ASI224MC]
Pan=332 Tilt=248
Output Format=AVI files (*.avi)
Binning=1 Capture Area=640x480
Colour Space=RGB24 Temperature=33.2
Hardware Binning=On High Speed Mode=Off
Turbo USB=100 Flip=None
Frame Rate Limit=Maximum
Gain=337 Exposure=0.012499
Timestamp Frames=Off
White Bal (B)=95 White Bal (R)=52
Brightness=1 Gamma=57

衝目前の土星。27日衝を迎えるが、白斑も広がっているようですね。

シーイング3/10、透明度3～4/5
2018-06-25　23h47m16s（JST）
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180628配信 No4424

月の名所シリーズ・1

安元　治義

月の名所シリーズを始めました。第一弾のヒギヌス谷からアリアダヌス・トリスネッカー渓谷

報告画像ギャラリー5

20180628配信 No4425

6月24日の月から
安元　治義

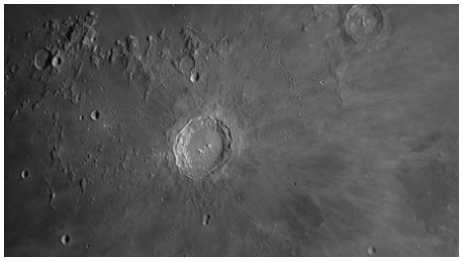
シャープ感が無い。フイルターつけ忘れた（着けているつもりで撮影）全体像でごまかし　後は没

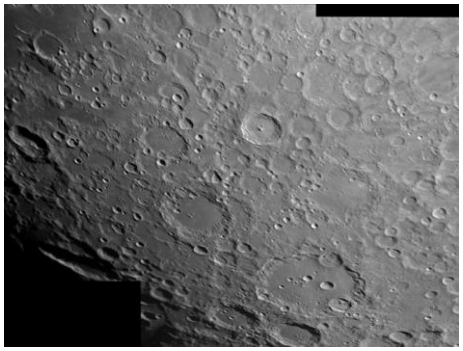
20cm反射F5直焦点　ASI290MC　8コマモザイク

20180628配信 No4426

月の名所シリーズ・2
安元　治義

コペルニクス付近
南部の山々　4コマモザイク



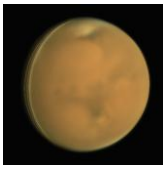


20cm反射F5直焦点　ASI290MC　IR76　3xバロー

20180628配信 No4427

火星ちょこっとクルクル(^^;)
川端　孝幸

6月22日02h05m38s～02h49m41s（JST)の約44分ほどを動画にしてみました。



パワーポイント上では動画になりますが、PDFでは静止画にしかならないようです。動画をご覧になりたい方はMMをご覧ください。(編)

20180628配信 No4427

木星でGIF動画
川端　孝幸

端が上手く行かないですね(^^;)6月21日の20h19m07s～21h50m12sの画像を使って再構成してます。（オリジナルより小さくしてます）

パワーポイント上では動画になりますが、PDFでは静止画にしかならないようです。動画をご覧になりたい方はMMをご覧ください。(編)

20180629配信 No4430

6月24日の土星
小田　孝明

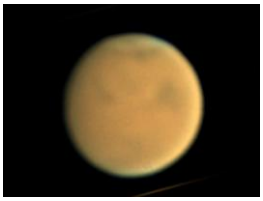
この日は木星、土星、火星の３惑星を撮影しましたが、土星しかまともに撮れていませんでした。ADCを使わなかったせいか色にじみが出てしまいました。省くとよくないですね。梅雨の晴れ間を逃さないように再チャレンジします！

撮影日時：2018/06/24
撮影対象：土星
場所：豊後高田市自宅庭
機材：TSA120+Extender ED1.5X（FL1350mm）、
　　×5バローレンズ
　　iOptron iEQ45pro
Camera=ZWO ASI290MC　Filter=RGB
Profile=Saturn　Diameter=18.28 "　Magnitude=0.03
FocalLength=4100mm
Date=240618　Start=224838.031
Mid=224928.063　End=225018.095
Duration=100.064s　Frames captured=10000
File type=AVI　ROI=968x548
Shutter=10.00ms　Gain=430 (71%)　Gamma=50
　　AS!2　50%スタック

20180701配信 No4434

昨夜（6/30）の火星
川端　孝幸

梅雨の晴れ間、透明度はまずますでしたがシーイングは悪かったですね。高層大気は良い予報だったので、中低層の影響か？こんな時はAS!3が上手く機能しません。Registaxだけで何とか処理。
とりあえず記録です(^^;)



シーイング：２/１０、透明度：３/５
[ZWO ASI224MC]
Pan=332　Tilt=248
Output Format=AVI files (*.avi)　Binning=1
Capture Area=640x480　Colour Space=RGB24
Temperature=35.2　Hardware Binning=On
High Speed Mode=OffTurbo USB=100
Flip=None　Frame Rate Limit=Maximum
Gain=291　Exposure=0.0125　Gamma=57
Timestamp Frames=Off
White Bal (B)=95　White Bal (R)=52　Brightness=1

20180702配信 No4435

月と火星の接近
藤吉　健児

梅雨の厚い雲の上では、土星が衝を迎えたり、月と土星が接近していたり、いろいろイベントはあっていたようですが、6/30(土)夜、月と火星が接近しているところだけはかろうじて雲の隙間から見えました。というか雲が月を減光してくれたので、却って面白く撮れたようです(笑)

2018.06/30 23:48JST　自宅2階ベランダ
Canon EOS Kiss X7i(Ir)
Canon EF-S 18-135mmF3.5-5.6(24mmF4.0)
ISO3200(NR:ON) 1/5秒

20180703配信 No4436

月の名所シリーズ・3
安元　治義

雨が続いています　禁断症状防止用にたくさん撮りためました。古いデータで申し訳ございません　でも今週も雨の予報ですね

虹の入江　プラトーとピコ山　（6月25日）

アペニン山脈　コペルニクス　ガッサンディ　（6月24日）
20cm反射F5直焦点　ASI290MC　IR76

紙面の都合で

20180703配信 No4437

は次号に掲載させてください(編集より)

大分天文協会

Astronomical Society of Oita